最近政府が行った各種意識調査結果からの抜粋

本資料は、最近政府が行った各種意識調査の中から、生活、仕事、社会保障制度などに関する質問に対する回答結果をまとめた公表資料について、社会保障制度改革国民会議事務局において抜粋したものです。調査結果を公表しているウェブサイトをそれぞれ調査概要に記載していますので、公表資料全体につきましては、そちらをご覧ください。

男女共同参画社会に関する世論調査(平成 24 年 10 月、内閣府)
1. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2. 調査結果(抜粋)
◆夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるか・・・・・・・・・・・・・・・ 2
◆仕事、家庭生活、地域・個人生活の希望優先度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◆仕事、家庭生活、地域・個人生活の現実(現状)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◆家事等に対する具体的評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
◆仕事と生活の調和が実現した社会(就労による経済的自立が可能な社会)・・・・・・・・ 🤉
◆仕事と生活の調和が実現した社会(健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会) · · 10
◆仕事と生活の調和が実現した社会(多様な働き方・生き方が選択できる社会)・・・・・11
国民生活に関する世論調査(平成 24 年 6~7 月、内閣府)
1. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2. 調査結果(抜粋)
◆日常生活での悩みや不安 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
◆悩みや不安の内容 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
◆将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
◆老後は誰とどのように暮らすのがよいか······17
◆働く目的は何か・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
◆収入と自由時間についての考え方·····19
社会保障に関する国民意識調査(平成 24 年 2~3 月、厚生労働省)
1. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · 2
1. 調査概要 ····································
1. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1. 調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1. 調査概要 21 2. 調査結果(抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 46 ◆生活困窮の原因 46 ◆今後の社会保障の給付と負担のバランス 41
1. 調査概要 21 2. 調査結果 (抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 47 ◆社会保障の給付と負担のバランス 47 ◆社会保障における高齢者と現役世代の負担のあり方 42
1. 調査概要 21 2. 調査結果 (抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 37 ◆社会構定の給付と負担のバランス 47 ◆社会保障における高齢者と現役世代の負担のあり方 42 ◆福祉と負担 43
1. 調査概要 21 2. 調査結果 (抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 37 ◆社会満足度 37 ◆生活困窮の原因 47 ◆一き後の社会保障の給付と負担のバランス 47 ◆社会保障における高齢者と現役世代の負担のあり方 47 ◆福祉と負担 47 ◆弱者保護と自由競争 47
1. 調査概要 21 2. 調査結果 (抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 47 ◆強を持ている高齢者と現役世代の負担のあり方 47 ◆清祉と負担 47 ◆弱者保護と自由競争 47 ◆市民意識 48
1. 調査概要 21 2. 調査結果 (抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆生活困窮の原因 40 ◆今後の社会保障の給付と負担のバランス 41 ◆社会保障における高齢者と現役世代の負担のあり方 42 ◆福祉と負担 43 ◆弱者保護と自由競争 44 ◆市民意識 45 ◆社会集団間の対立 46
1. 調査概要 21 2. 調査結果 (抜粋) ◆所得の格差 22 ◆日本の社会観 26 ◆生活満足度 33 ◆職場の同僚との人間関係 34 ◆近隣住民との人間関係 35 ◆人間関係についての満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 36 ◆社会満足度 47 ◆今後の社会保障の給付と負担のバランス 47 ◆令後の社会保障の給付と負担のバランス 47 ◆可能と負担 47 ◆可能と自由競争 47 ◆市民意識 48

若	者の仕事観や将来像と職業的自立、就労等支援等に関する調査(平成 23 年 12 月~24 年 1 月、内閣府	F)
1	. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · 49)
2	調査結果(抜粋)	
	◆何のために仕事をするのか · · · · · · · 50)
	◆仕事を選ぶ理由として何がどれくらい大切か・・・・・・・・・・・ 50)
	◆仕事と家庭のバランス ······ 51	
	◆働くことに関する不安 · · · · · · · · · 52	<u>)</u>
	◆現在の職業を選んだ理由 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	}
	◆現在働いていない理由 · · · · · · · · · · · · · · · · · · 53	}
	◆将来の自分の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54	
	◆海外での就労意向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55	;
	◆働くことの悩み等の相談相手 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	;
	◆働くことを支援する公的な相談機関等の認知状況・・・・・・・・・・・・・・ 57	7
	◆公的相談機関の利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57	7
	◆キャリア教育・職業教育を受けた経験·······58	}
	◆職場体験・インターンシップの経験······ 58	}
	◆必要だと思う支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59)
	◆有効な支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59)
社	は会保障を支える世代に関する意識等調査(平成22年7月、厚生労働省)	
1	. 調査概要 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2	調査結果(抜粋)	
	◆今後の子どもの希望状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62	<u>)</u>
	◆子どもが欲しくない理由 · · · · · · · · 63	}
	◆就学前の子どもと接する時間 · · · · · · · · · · · · · · · · 64	ļ
	◆就業している母の育児のための制度利用状況····· 65	;
	◆就業している母の育児のための制度を利用したことがない理由・・・・・・・・・・ 65	;
	◆重点を置くべき出産・子育ての環境整備······66	;
	◆理想と思われる子育てと働き方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	◆子どもの年齢による希望する就業形態······68	}
	◆手助けや見守りをしている親がいると回答した者の親の介護サービスの利用状況・・・・ 69)
	◆理想と思われる親への介護 · · · · · · · · 70)
	◆理想とする就業時間 · · · · · · · · · · · · 71	
	◆理想とする働き方や労働条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 72)
	◆将来への不安 · · · · · · · · · · · · · · · 73	
	◆老後の生計を支える手段として考えているもの・・・・・・・・・・ 74	ļ
	◆税や社会保険料の負担感 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75	5
	◆関心のある社会保障の分野 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76	;
	◆今後の社会保障の給付と負担の関係·······77	

男女のライフスター	イルに関する意識調査	(平成 21 年 2 月、	内閣府)

1.	調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	79
2.	調査結果(抜粋)	
•	▶社会において女性の能力は十分活用されていると思うか	80
•	▶日本における女性の参画が、海外の先進国と比べて遅れている理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	81
•	▶家庭における、家事や育児・介護などへの参画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	82
•	▶夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるといった考え方	83
•	▶固定的性別役割分担意識に賛成、反対の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	84
	▶夫婦間での役割分担 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
•	▶夫婦間での家事分担 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	85
•	▶固定的分担意識によって、自分の希望とは違う選択をしたことがあるか・・・・・・・・・	86
•	▶現在同じような状況でも、自分の希望とは違う選択をせざるを得ないと思うか·····	87
•	▶自分の希望する時間の使い方ができていると思うか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
	▶時間を取り過ぎていると思う活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	▶時間が取れていない活動 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
•	▶自分が希望する時間の取り方のために必要なこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	89
•	▶ワーク・ライフ・バランスを実現するために利用してみたい制度‥‥‥‥‥‥	90
•	▶制度を実際に利用するに当たって、最も重要なこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
•	▶男性の働き方について、長時間労働や休みの取りにくさの原因····································	92
•	◆仕事と生活の調和を実現しやすい社会にするために、行政に期待すること・・・・・・・・・	93
•	▶女性は男性に比べて能力向上の機会が少ないと思うか	94
•	▶女性に能力向上の機会が少ない理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
	▶普通の女性が管理職になるのは難しいと思うか‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	
	▶10年後、今より高い職責にあると思うか‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	
•	▶10 年後のキャリアアップが見通せる理由、見通せない理由 ······	97
	▶女性が子育てをしながら活躍するために有用な仕組み	
•	▶地域社会において女性が活躍するために必要なこと	99
	◆女性が能力開発・発揮がしやすい社会にするために、行政に期待すること・・・・・・・・・・・	

男女共同参画社会に関する世論調査(内閣府)

【調査対象】

全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 5,000 人

【調査方法】

調査員による個別面接聴取法

【調査期間】

平成24年10月11日~平成24年10月28日

【回答数(率)】

有効回収数(率)3,033人(60.7%)

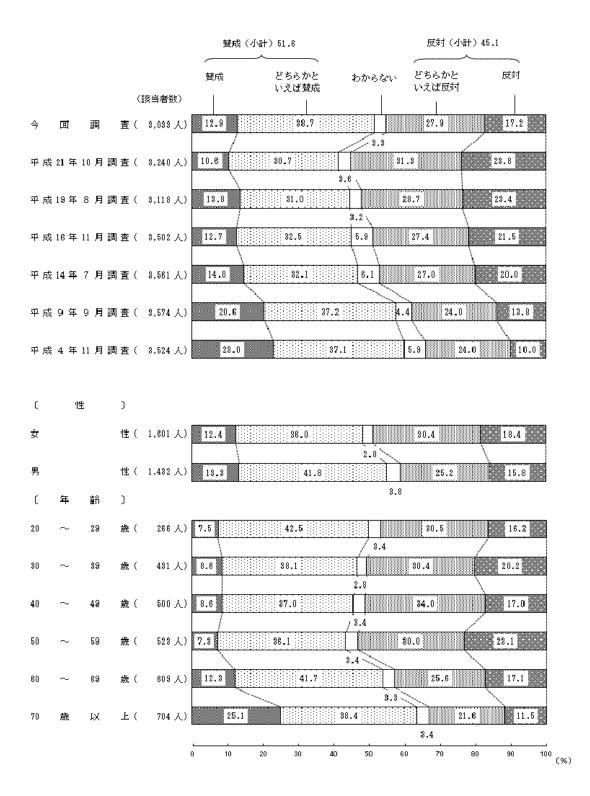
※調査の全体についてはこちらをご参照ください。

http://www8.cao.go.jp/survey/h24/h24-danjo/index.html

◆ 夫は外で働き妻は家庭を守るべきであるか

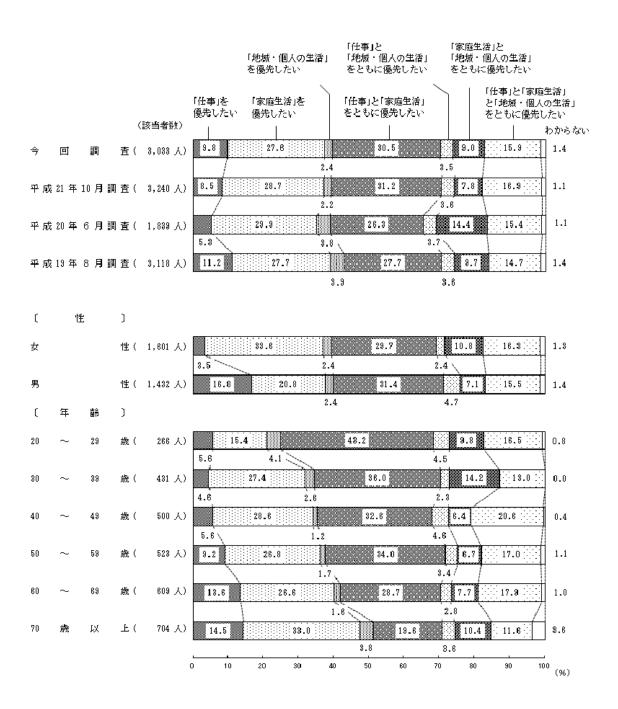
家庭生活について、あなたの御意見をお伺いします。この中から1つだけお 答えください。

夫は外で働き妻は家庭を守るべきである。



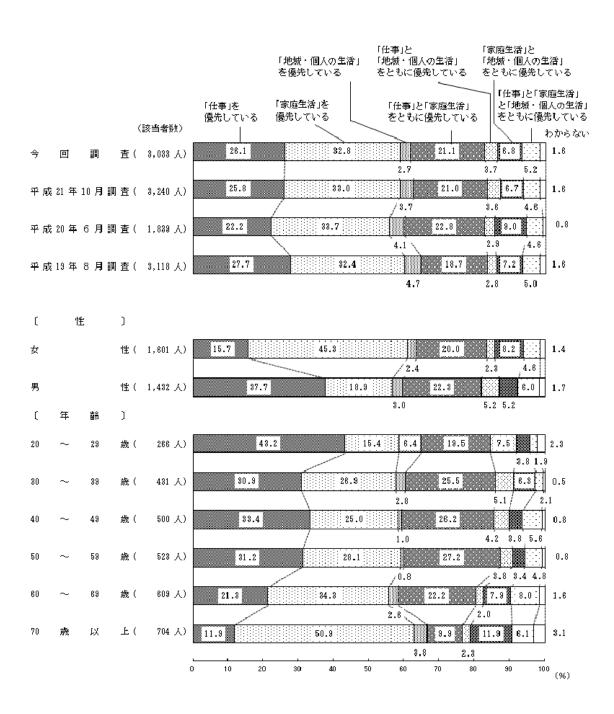
◆ 仕事、家庭生活、地域・個人生活の希望優先度

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度についてお伺いします。あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。



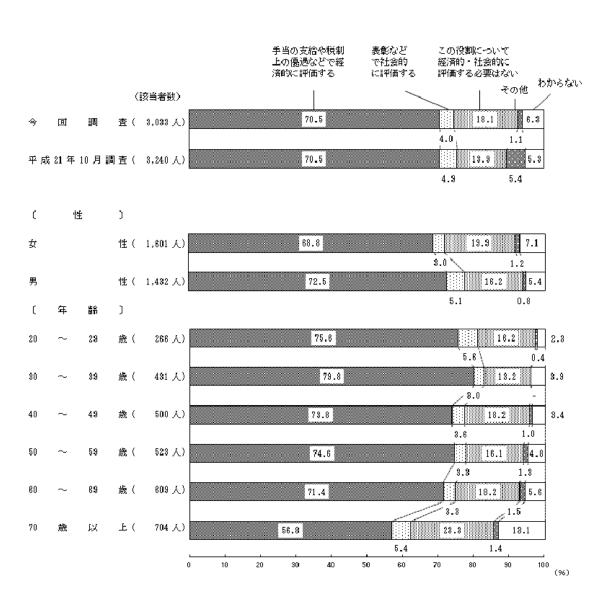
◆ 仕事、家庭生活、地域・個人生活の現実(現状)

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度についてお伺いします。あなたの現実(現状)に最も近いものをこの中から1つだけお答えください。



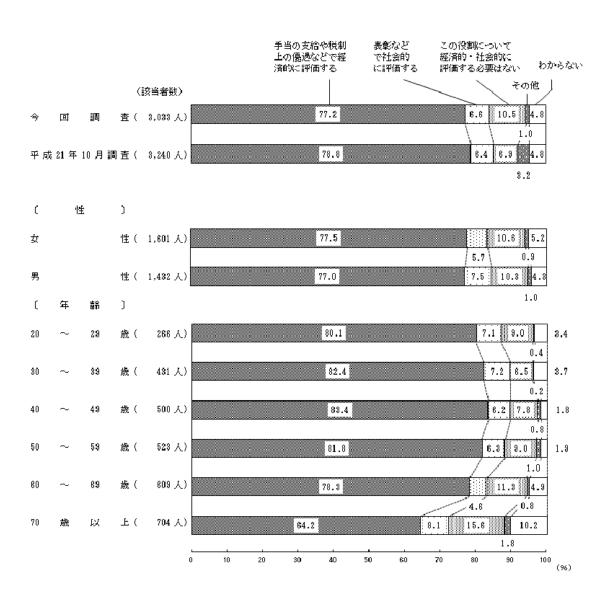
◆ 家事等に対する具体的評価(育児)

「育児、介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、 社会全体で評価していこう」という考え方がありますが、「育児」について、あ なたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。この中か ら1つだけお答えください。



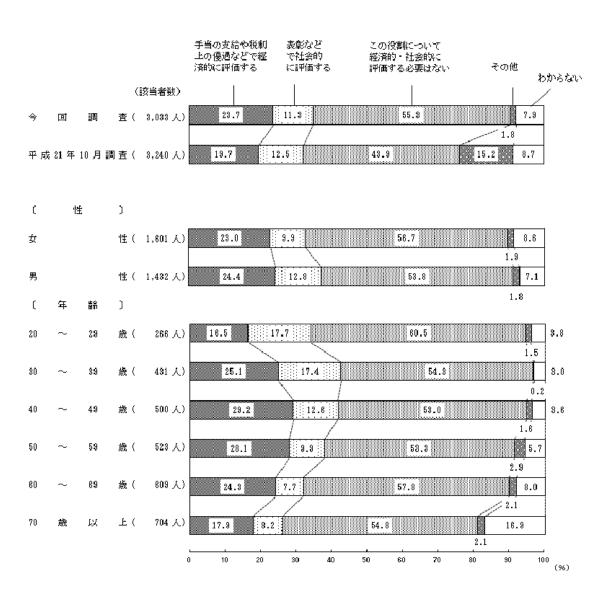
◆ 家事等に対する具体的評価(介護)

「育児,介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため, 社会全体で評価していこう」という考え方がありますが,「介護」について,あ なたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。この中か ら1つだけお答えください。



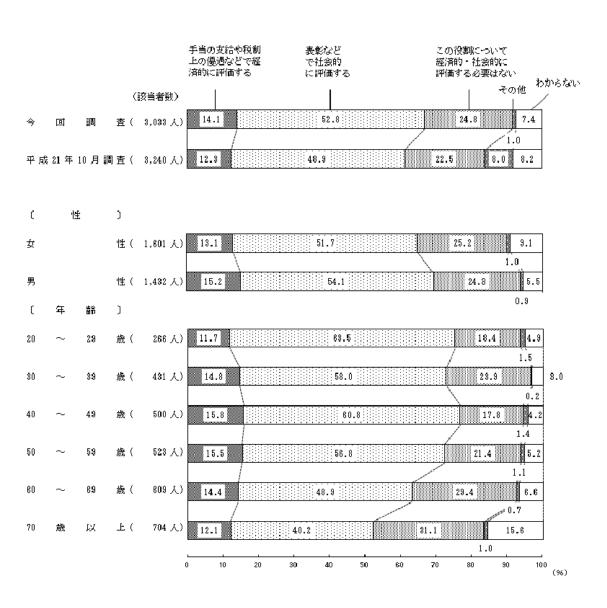
◆ 家事等に対する具体的評価(育児・介護以外の家事)

「育児、介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、 社会全体で評価していこう」という考え方がありますが、「育児・介護以外の家 事」について、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思い ますか。この中から1つだけお答えください。



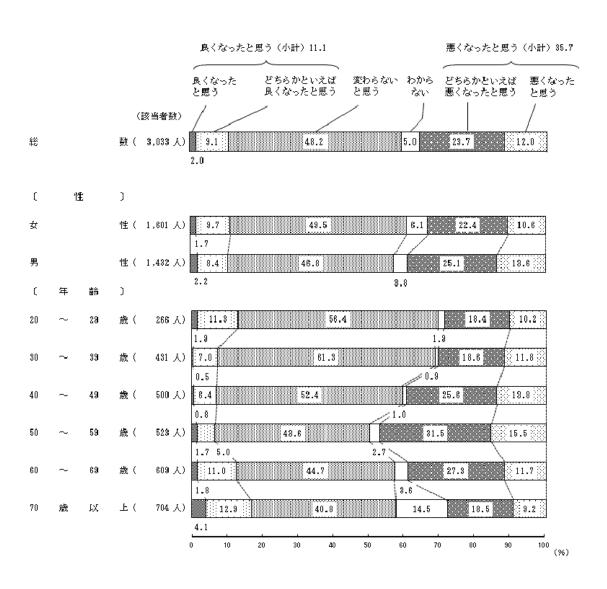
◆ 家事等に対する具体的評価(自治会などの地域活動)

「育児、介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、 社会全体で評価していこう」という考え方がありますが、「自治会などの地域活動」について、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。この中から1つだけお答えください。



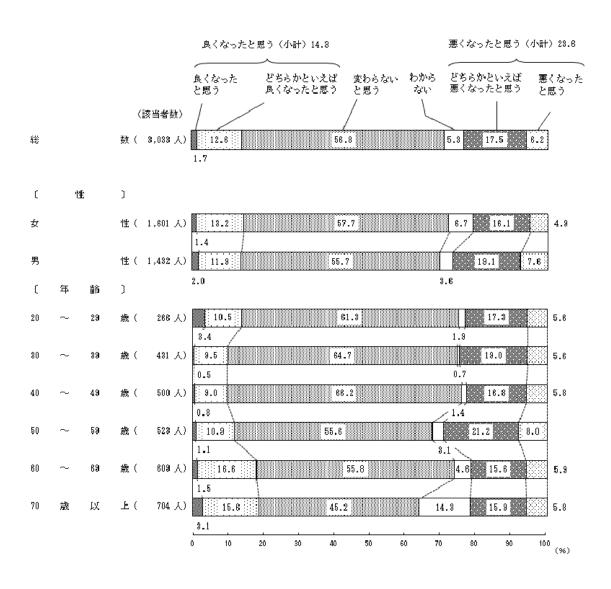
◆ 仕事と生活の調和が実現した社会(就労による経済的自立が可能な社会)

政府では「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現した社会」について、「就労による経済的自立が可能な社会(経済的自立を必要とする者とりわけ若者がいきいきと働くことができ、かつ、経済的に自立可能な働き方ができ、結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮らしの経済的基盤が確保できる。)」を掲げています。あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、1年前と比較してどのように変化していると思いますか。最も近いものをそれぞれ1つだけお答えください。



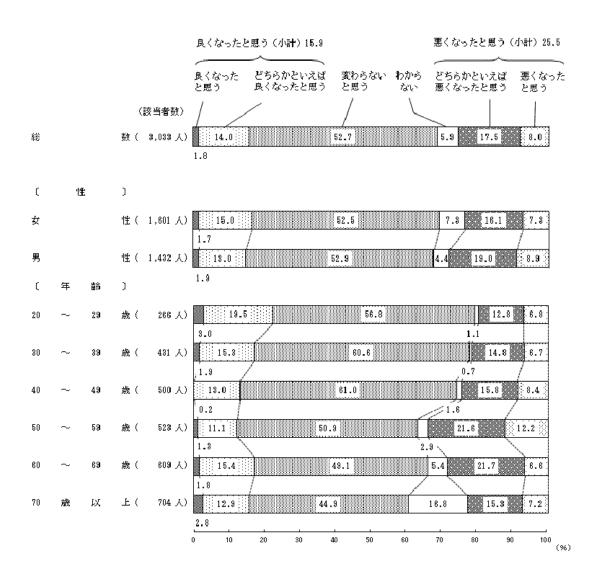
◆ 仕事と生活の調和が実現した社会(健康で豊かな生活の ための時間が確保できる社会)

政府では「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現した社会」について、「健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会(働く人々の健康が保持され、家族・友人などとの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを持てる豊かな生活ができる。)」を掲げています。あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、1年前と比較してどのように変化していると思いますか。最も近いものをそれぞれ1つだけお答えください。



◆ 仕事と生活の調和が実現した社会(多様な働き方・生き 方が選択できる社会)

政府では「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現した社会」について、「多様な働き方・生き方が選択できる社会(性や年齢などにかかわらず、誰もが自らの意欲と能力を持って様々な働き方や生き方に挑戦できる機会が提供されており、子育てや親の介護が必要な時期など個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択でき、しかも公正な処遇が確保されている。)」を掲げています。あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、1年前と比較してどのように変化していると思いますか。最も近いものをそれぞれ1つだけお答えください。



国民生活に関する世論調査(内閣府)

【調査対象】

全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 10,000 人

【調査方法】

調査員による個別面接聴取法

【調査期間】

平成24年6月14日~平成24年7月1日

【回答数(率)】

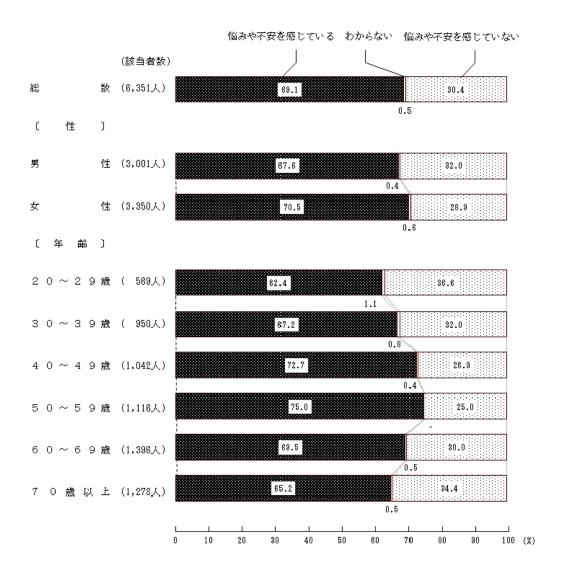
有効回収数(率) 6,351 人(63.5%)

※調査の全体についてはこちらをご参照ください。

http://www8.cao.go.jp/survey/h24/h24-life/index.html

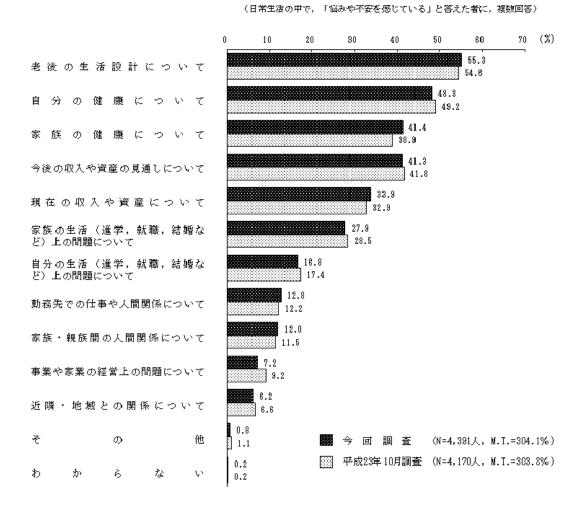
◆ 日常生活での悩みや不安

あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか、それとも、悩 みや不安を感じていませんか。



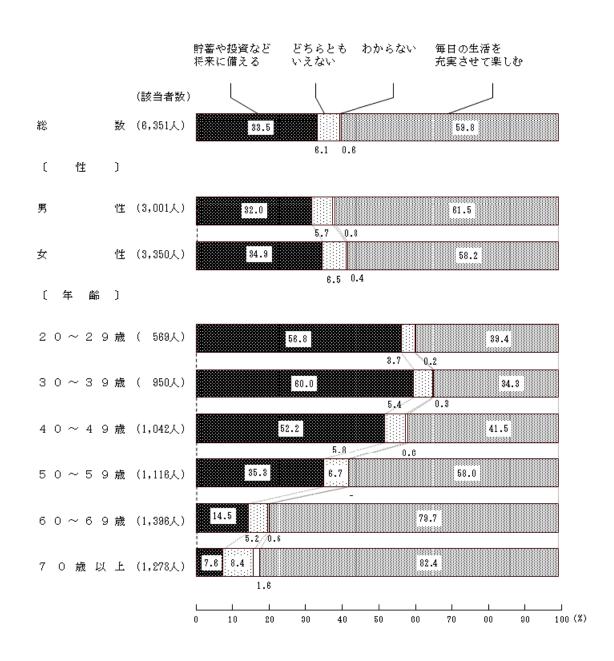
◆ 悩みや不安の内容

悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。この中からいくつでもあげてください。



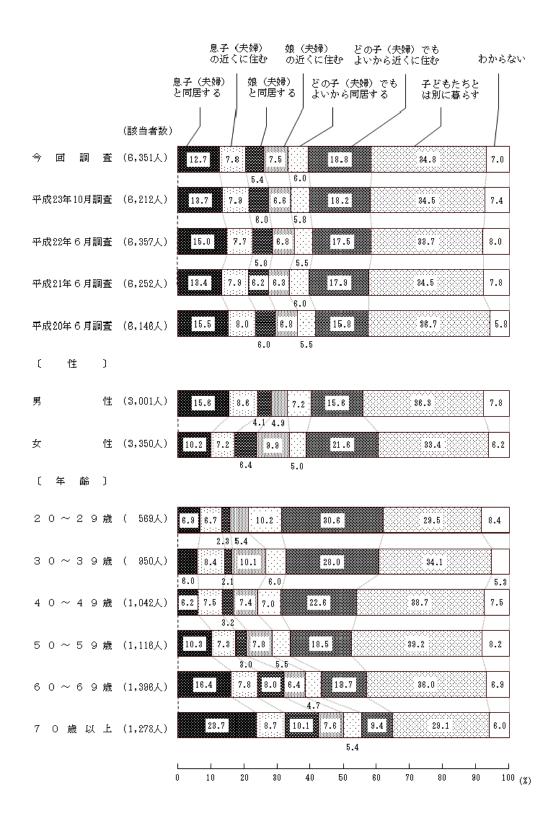
◆ 将来に備えるか、毎日の生活を充実させて楽しむか

あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。



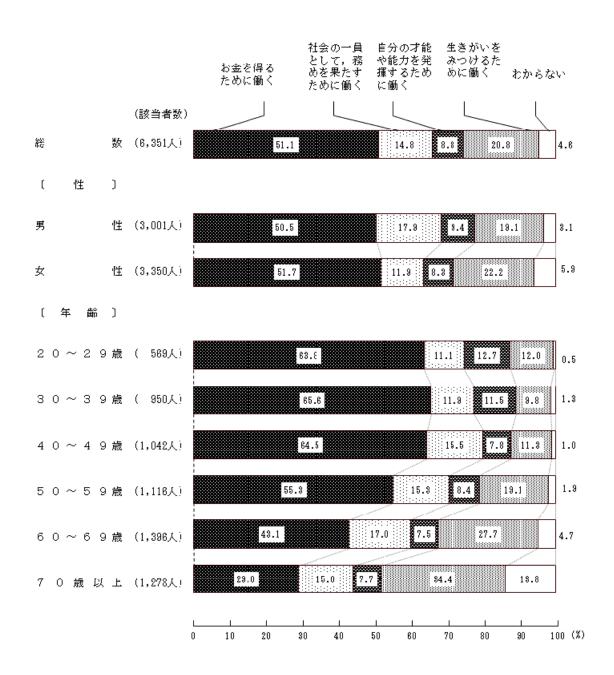
◆ 老後は誰とどのように暮らすのがよいか

あなたは、一般的に、老後は誰とどのように暮らすのがよいと思いますか。 あなたの考え方に近いものをこの中から1つお答えください。



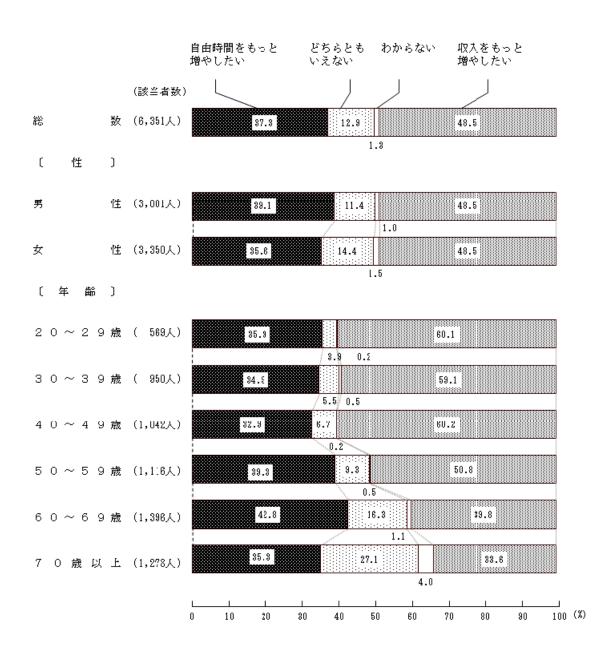
◆ 働く目的は何か

あなたが働く目的は何ですか。あなたの考え方に近いものをこの中から1つ お答えください。



◆ 収入と自由時間についての考え方

あなたは、収入と自由時間について、自由時間をもっと増やしたいと思いますか、それとも、収入をもっと増やしたいと思いますか。



社会保障に関する国民意識調査

(厚生労働省)

【調査対象】

調査会社のネットリサーチに登録しているモニターから、居住地(全国8ブロック)、年齢、性別による構成比に応じてサンプル割付のうえ、回答依頼を実施した。

【調査方法】

ウェブモニターによるインターネットアンケート調査。サンプル割付に対して想定回答数が得られるまで回答を受け付ける方式とした。

【調査期間】

平成24年2月28日~平成24年3月1日

【回答数】

3,144 件

※調査の全体についてはこちらをご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002i9cr.html

◆ 所得の格差

『日本の所得は格差が大きすぎる。』という意見についてあなたはどう思いますか。

【全体】



所得の格差

800~1000万円未満

1000万円以上

『所得の格差を縮めるのは、政府の責任である。』という意見についてあなた はどう思いますか。



17.8

18.1

(270)

(288)

25.2

22.2

16.7

17.4

31.9

28.8

8.5

13.5

◆ 所得の格差

『政府は、失業者がそれなりの生活水準を維持できるようにすべきだ。』という 意見についてあなたはどう思いますか。

【全体】



◆ 所得の格差

『政府は、貧しい人たちに対する援助を減らすべきだ。』という意見についてあ なたはどう思いますか。

【全体】



【性別】

男性	(1,512)	5.5	12.4	35.8	20.6		24.5	1.
女性	(1,632)	5.7	10.4	41.9	20).4	19.7	1.9

【年齢階級別】

20~24歳	(169)	8.3	12.4	35.5		20.7	20.1	3.0
25~29歳	(238)	7.6	15.5	38.7		18.5	18.5	1
30~34歳	(226)	6.2	11.5	42.0		16.8	19.9	β.5
35~39歳	(317)	6.0	14.5	41.6		19.2	16.7	1
40~44歳	(302)	7.0	13.2	40.7		15.9	22.2	1.
45~49歳	(204)	5.4	9.8	35.3		26.0	22.1	1.
50~54歳	(295)	6.8	7.8	44.7		20.0	20.0	0
55~59歳	(201)	5.5	10.0	38.3		19.4	25.4	1.
60~64歳	(407)	4.7	9.8	39.3		22.1	22.6	1
65歳~	(785)	3.7	10.8	35.8	2:	2.5	25.7	1.

200万円未満	(388)	6.7	9.3	36.1	18	3.0	2	26.0	3.9
200~400万円未満	(913)	4.8	10.4	38.0		21.5		24.0	1.
400~600万円未満	(823)	4.6	10.7	39.1		20.8		23.2	1
600~800万円未満	(462)	4.8	11.3	44.2		21.2	!	16.9	1
800~1000万円未満	(270)	7.0	17	37.4		18.	9	18.1	O
1000万円以上	(288)	9.	4 13	38.2		20.1		18.8	

あなたは、現在の日本の社会は学歴がものをいう社会だと思いますか。

【全体】

		ロそう思う		ロどちらかといえば、そう思う		
		□どちらかとし	ヽえば、そうは思わない	ロそうは思わない		
	n=					(%)
全体	(3,144)	18.5	58.	4	18.9	4.2
【性別】						
男性	 (1,512)	18.8	55.8		20.4	5.0

【年齢階級別】

20~24歳	(169)	23.7	55.6	13.6	7.1
25~29歳	(238)	17.6	52.1	21.4	8.8
30~34歳	(226)	17.3	57.1	19.5	6.2
35~39歳	(317)	20.2	53.6	23.7	2.5
40~44歳	(302)	21.9	52.3	21.2	4.6
45~49歳	(204)	16.7	56.9	21.1	5.4
50~54歳	(295)	13.6	3.6 62.7		4.4
55~59歳	(201)	19.9	58.2	19.4	2.5
60~64歳	(407)	18.2	61.9	17.0	2.9
65歳~	(785)	18.2	62.5	16.6	2.7

200万円未満	(388)	21.9	52.8	20.4	4.9
200~400万円未満	(913)	17.3	59.6	18.5	4.6
400~600万円未満	(823)	19.1	58.6	19.2	3.2
600~800万円未満	(462)	16.0	59.7	19.7	4.5
800~1000万円未満	(270)	20.0	60.7	15.9	3.3
1000万円以上	(288)	18.8	57.3	19.1	4.9

あなたは、現在の日本の社会は出身大学がものをいう社会だと思いますか。

【全体】



17.7

58.4

19.9

(1,632)

【年齢階級別】

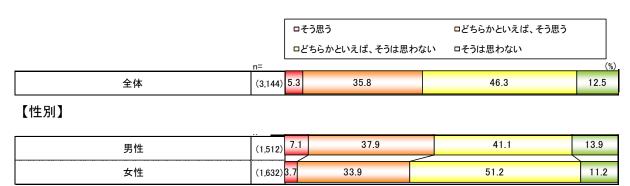
女性

20~24歳	(169)	26.6		44.4		21.3	7.7	
25~29歳	(238)	18.1	,	47.5		.8 1	2.6	
30~34歳	(226)	16.4	16.4 49.6		2	4.3	9.7	
35~39歳	(317)	21.1	44.5			30.3	4.1	
40~44歳	(302)	20.5	20.5 51.3			22.2	6.0	
45~49歳	(204)	17.2	54.9			23.5	4.4	
50~54歳	(295)	15.9	57.6			23.1	3.4	
55~59歳	(201)	19.9	58.2		58.2		18.9	3.0
60~64歳	(407)	22.1	55.8			19.2	2.9	
65歳~	(785)	20.3		59.0		18.2	2.5	

200万円未満	(388)	25.0	47.4	21.9	5.7
200~400万円未満	(913)	19.2	55.2	20.6	5.0
400~600万円未満	(823)	19.6	53.0	23.2	4.3
600~800万円未満	(462)	18.0	54.1	21.9	6.1
800~1000万円未満	(270)	18.9	59.6	18.5	3.0
1000万円以上	(288)	20.1	52.1	22.9	4.9

あなたは、現在の日本の社会は努力すればむくわれる社会だと思いますか。

【全体】



【年齢階級別】

20~24歳	(169)	10.7	33.1	39.6	16.6
25~29歳	(238)	8.0	35.3	36.6	20.2
30~34歳	(226)	4.9	39.8	38.5	16.8
35~39歳	(317)	6.0	32.5	47.6	13.9
40~44歳	(302)	5.3	36.1	45.7	12.9
45~49歳	(204)	4.9	30.9	45.6	18.6
50~54歳	(295)	3.7	30.2	55.6	10.5
50~54歳 55~59歳	(295) (201)		30.2	55.6 50.7	10.5
		.6			

200万円未満	(388)	5.7	35.6	43.8	14.9
200~400万円未満	(913)	5.5	34.4	47.5	12.6
400~600万円未満	(823)	4.7	36.7	46.3	12.3
600~800万円未満	(462)	5.4	37.2	44.8	12.6
800~1000万円未満	(270)	4.8	35.2	48.9	11.1
1000万円以上	(288)	6.6	36.5	46.2	10.8

あなたは、現在の日本の社会はお金があればたいていのことがかなう社会だと 思いますか。

【全体】

【主体】										
		□そう思う		□どちらかといえば、	そう思う					
		□どちらかといえば	、そうは思れ	っない ロそうは思わない						
Γ	n=				(%					
全体	(3,144)	28.2		55.9	13.4 2.					
【性別】										
男性	(1,512)	30.6		53.2	13.4 2.					
女性	(1,632)	25.9		58.4	13.4 2					
【年齢階級別】										
20~24歳	(169)	40.2		43.8	11.8 4.					
25~29歳	(238)	34.5		45.8	14.3 5.5					
30~34歳	(226)	35.0		48.7	14.6 1					
35~39歳	(317)	33.4		48.6	15.8 2					
40~44歳	(302)	33.1		49.7	14.2 8.					
45~49歳	(204)	25.5		61.3	10.8 2					
50~54歳	(295)	25.8		60.7	12.2 1					
55~59歳	(201)	23.4		57.7	17.4 1					

【世帯所得階級別】

60~64歳

65歳~

					\/ * /
200万円未満	(388)	32.0	50.3	13.7	4.1
200~400万円未満	(913)	28.0	57.1	12.6	2.3
400~600万円未満	(823)	28.2	56.1	13.0	2.7
600~800万円未満	(462)	27.7	57.1	13.6	1
800~1000万円未満	(270)	26.3	58.5	13.0	2.2
1000万円以上	(288)	26.0	54.5	16.3	3.1

23.8

22.8

(407)

63.4

61.4

10.3 2

13.4

あなたは、現在の日本の社会は人と違う生き方を選びやすい社会だと思いますか。

【全体】



【年齢階級別】

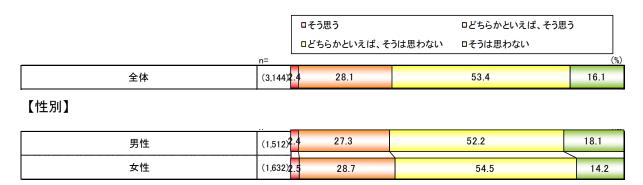
20~24歳	(169)	7.1	17.2	43.2	32.5
25~29歳	(238)	5.9	16.8	54.2	23.1
30~34歳	(226)	3.1	23.9	53.5	19.5
35~39歳	(317)	3.8	24.3	51.7	20.2
40~44歳	(302)	2.3	23.5	56.0	18.2
45~49歳	(204)	3.4	20.1	52.5	24.0
50~54歳	(295)	4.1	24.1	57.6	14.2
55~59歳	(201)	2.5	27.4	55.7	14.4
60~64歳	(407)	4.2	30.5	54.5	10.8
65歳~	(785)	3.3	31.8	52.4	12.5

200万円未満	(388)	5.9	28.9	49.2	16.0
200~400万円未満	(913)	3.9	27.4	52.6	16.1
400~600万円未満	(823)	3.6	25.5	52.7	18.1
600~800万円未満	(462)	3.5	24.7	55.0	16.9
800~1000万円未満	(270)	3.7	24.8	55.2	16.3
1000万円以上	(288)	.4	20.5	59.0	19.1

◆ 日本の社会観

あなたは、現在の日本の社会は自然や環境を大切にしている社会だと思いますか。

【全体】



【年齢階級別】

20~24歳	(169) ¹	.В	27.2	49.1		21.9
25~29歳	(238)	3.4	23.9	49.2	2	23.5
30~34歳	(226)	.2	27.0	51.8		19.0
35~39歳	(317)	2.5	25.6	55.5		16.4
40~44歳	(302)	2.6	24.8	55.0		17.5
45~49歳	(204)	3.9	21.6	57.8		16.7
50~54歳	(2950)	7	25.8	57.3		16.3
55~59歳	(201)	.р	25.4	60.2		13.4
60~64歳	(407)2	φ.	31.2	53.6		13.3
65歳~	(785);	3.2	33.6	50.3		12.9

200万円未満	(388)	4.1	28.9	50.5	16.5
200~400万円未満	(913)	2.6	28.9	51.7	16.8
400~600万円未満	(823)2	.4	28.7	51.5	17.4
600~800万円未満	(462)	.3	25.3	57.1	16.2
800~1000万円未満	(270)	3.0	25.6	58.1	13.3
1000万円以上	(288)	b	29.2	58.0	11.8

◆ 日本の社会観

あなたは、現在の日本の社会は人との結びつきを大事にする社会だと思いますか。

【全体】

		ロそう思う	ロどちらかといえば、そう思う	
		ロどちらかといえば、そうは	思わない ロそうは思わない	
	n=			(%)
全体	(3,144)	31.9	51.3	13.7
【性別】				
男性	(1,512)	31.2	50.4	15.4
女性	(1,632)	32.6	52.2	12.1

【年齢階級別】

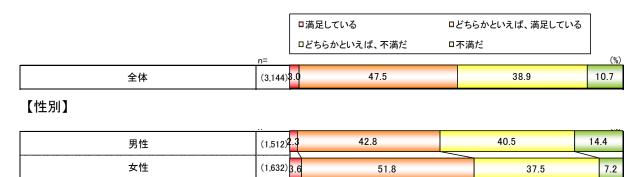
20~24歳	(169)	5.9	23.1		51.5	1	9.5
25~29歳	(238)	4.6	25.6		51.3		18.5
30~34歳	(226)	.2	31.0		50.4		16.4
35~39歳	(317)	3.8	30.0		51.7		
40~44歳	(302)	3.6	26.5		55.0		
45~49歳	(204)	.b	34.3		47.5		17.2
50~54歳	(295)	.4	29.8		54.6		
55~59歳	(201 0	5	35.3		53.2		
60~64歳	(407)	1	31.2	54.8			11.8
65歳~	(785)	3.4	38.6	47.5			10.4

200万円未満	(388)	3.4	29.1	54.1	13.4
200~400万円未満	(913)	3.0	32.1	50.5	14.5
400~600万円未満	(823)	3.8	33.2	48.7	14.3
600~800万円未満	(462)	1.7	30.7	54.3	13.2
800~1000万円未満	(270)	3.7	28.5	53.7	14.1
1000万円以上	(288)		36.8	50.7	10.4

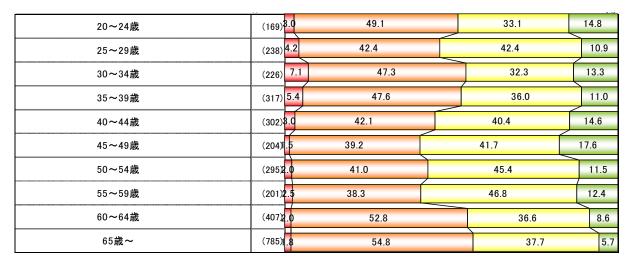
◆ 生活満足度

あなたは今の生活に、全体としてどの程度満足していますか。あなたのお気持ちに近いものをお選びください。

【全体】



【年齢階級別】





◆ 職場の同僚との人間関係

1000万円以上

職場の同僚とは、どのようなつきあい方が望ましいと思いますか。実際にどのようにしているかは別にして、ご希望に近いものを一つだけお選びください。(現在働いていない方も想定でお答えください。)

【全体】

□仕事に直接関係する範囲のつきあい □仕事が終わってからも、話し合ったり遊んだりするつきあい □なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい □その他

	n=							(%)
全体	(3,144)	37.2		40.	7		20.8	1.
【性別】								
男性	(1,512)	37.0 42.3				19.8		
女性	(1,632)	37.3		39.2	2		21.6	ĺ
【年齢階級別】			·					
20~24歳	(169)	30.2		50.9			17.8	1
25~29歳	(238)	39.5			13.3		15.5	1.
30~34歳	(226)	47.8 37.6					13.7	0
35~39歳	(317)	37.9		4	44.5		17.4	0.
40~44歳	(302)	41.7 38.1		8.1		18.9	1	
45~49歳	(204)	50.0			33.3		15.7	1
50~54歳	(295)	40.3		39.7			19.0	1
55~59歳	(201)	40.3		39.8			18.4	1.
60~64歳	(407)	39.1		4	3.0		16.7	1
65歳~	(785)	26.5		39.5		31.8	8	2.
【世帯所得階級別】								
200万円未満	(388)	39.2		36.0	6		21.9	2.
200~400万円未満	(913)	37.5		37.8			23.4	1
400~600万円未満	(823)	34.9		42.0			21.9	1
600~800万円未満	(462)	37.9		42.9			18.6	0
800~1000万円未満	(270)	41.5			42.2		15.2	1
						-		Z

34.7

(288)

◆ 近隣住民との人間関係

隣近所の人とは、どのようなつきあい方が望ましいと思いますか。実際にどのようにしているかは別にして、ご希望に近いものを一つだけお選びください。

【全体】

□会ったときに、あいさつする程度のつきあい □あまり堅苦しくなく話し合えるようなつきあい □なにかにつけ相談したり、たすけ合えるようなつきあい □その他

	n=				(9
全体	(3,144)	23.4		60.0	16.3
【性別】	_				
男性	(1,512)	26.5		57.1	16.1
女性	(1,632)	20.5		62.7	16.4
【年齢階級別】					
20~24歳	(169)	30.8		57.4	11.8
25~29歳	(238)	35.3		52.9	11.3
30~34歳	(226)	37.6		52.2	9.7
35~39歳	(317)	24.9		57.7	17.0
40~44歳	(302)	27.5		56.6	14.6
45~49歳	(204)	25.0		62.7	12.3
50~54歳	(295)	25.1		60.0	14.6
55~59歳	(201)	27.4		57.7	14.9
60~64歳	(407)	20.1		64.6	15.2
65歳~	(785)	11.5		64.6	23.6
【世帯所得階級別】					
200万円未満	(388)	28.1		54.4	16.8
200~400万円未満	(913)	24.0		58.3	17.6

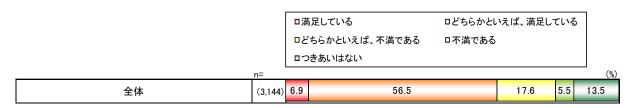
200万円未満	(388)	28.1	54.4	16.8 0
200~400万円未満	(913)	24.0	58.3	17.6 O.
400~600万円未満	(823)	19.7	62.9	17.0 0.
600~800万円未満	(462)	23.8	59.7	15.6 0.
800~1000万円未満	(270)	23.7	63.3	13.0
1000万円以上	(288)	24.7	61.8	13.5

◆ 人間関係についての満足度

以下について、あなたの気持ちにいちばん近いものを選んで、それぞれ1つだけお選びください。(それぞれひとつだけ)

『職場の同僚や学校の友だちとの人間関係に、満足していますか。満足していませんか。』

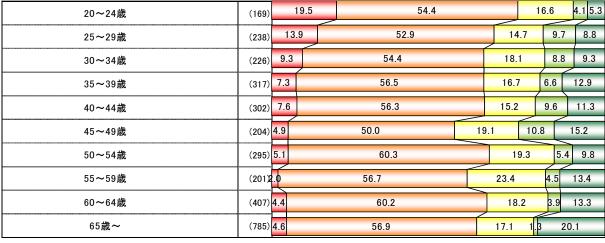
【全体】



【性別】

男性	(1,512)	5.3	56.3	21.2		7.3	9.9
女性	(1,632)	8.3	56.6	14.3	3.9	1	6.9

【年齢階級別】



200万円未満	(388)	5.7	50.8	18.	3	5.4	1:	9.8
200~400万円未満	(913)	7.0	50.5	18	3.6	6.1	_ 1	7.7
400~600万円未満	(823)	6.9	59.2		17.	.3	6.0	10.7
600~800万円未満	(462)	6.5	60.2		16	.9	5.2	11.3
800~1000万円未満	(270)	7.4	59.6		17	7.4	3.3	12.2
1000万円以上	(288)	8.0	66.7			16	6.0	4.9 4.5

◆ 人間関係についての満足度

以下について、あなたの気持ちにいちばん近いものを選んで、それぞれ1つだけお選びください。(それぞれひとつだけ)

『隣近所の人たちとの関係については、満足していますか。満足していませんか。』

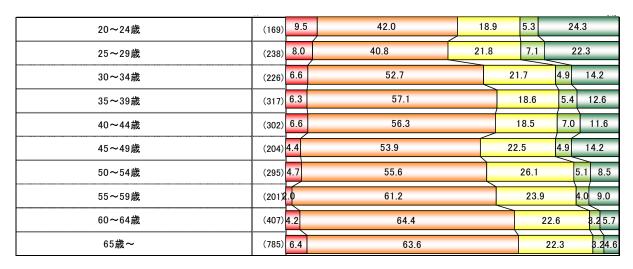
【全体】

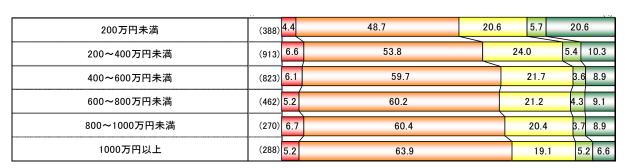


【性別】



【年齢階級別】





◆ 人間関係についての満足度

以下について、あなたの気持ちにいちばん近いものを選んで、それぞれ 1 つだけお選びください。(それぞれひとつだけ)

『家族との関係については、満足していますか。満足していませんか。』

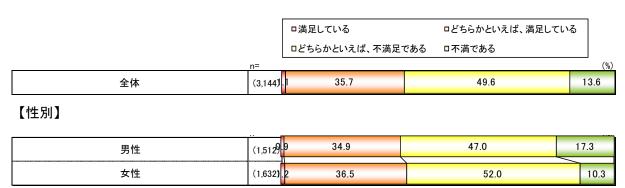
【全体】



◆ 社会満足度

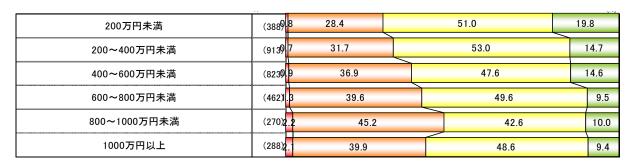
あなたは現在の社会状況に、全体として満足していますか。それとも満足していませんか。

【全体】



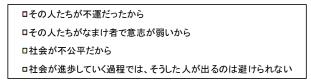
【年齢階級別】

20~24歳	(169)2.4	40.2 40.8		16.6	
25~29歳	(238)2	37.4		47.1	13.4
30~34歳	(226)2.2	42.0		38.5	17.3
35~39歳	(317)	35.0		48.9	14.2
40~44歳	(3029 3	34.1		49.7	
45~49歳	(2040 5	26.0		53.4	
50~54歳	(295).0	31.2		53.9	13.9
				54.2	
55~59歳	(2010 5	30.8		54.2	14.4
55~59歳 60~64歳	(201 0 .5 (407 0 .7	30.8 36.4		54.2 52.1	14.4



◆ 生活困窮の原因

あなたのお考えでは、生活に困っている人がいるのはどのような理由によるものだと思いますか。次の中から、あなたのお考えに近いものをお選びください。 【全体】





【性別】

男性	(1,512)	11.6	17.6	41.3	29.6
女性	(1,632)	12.3	12.9	39.9	34.9

【年齢階級別】

20~24歳	(169)	16.6	14.8	3	32.0		36.7
25~29歳	(238)	15.1	16.4	4 37.0			31.5
30~34歳	(226)	14.6	21.	21.2 34.5			29.6
35~39歳	(317)	16.1	16.4	4	36.9		30.6
40~44歳	(302)	9.9	17.9	35.4		36.8	
45~49歳	(204)	11.8	12.7		41.7		33.8
50~54歳	(295)	11.2	11.5		43.1		34.2
55~59歳	(201)	13.4	13.9		48.8		23.9
60~64歳	(407)	12.0	14.0		47.2	26.8	
65歳~	(785)	8.3	14.5	4.5 41.9		35.3	

200万円未満	(388)	11.9	12.9	42.3	33.0
200~400万円未満	(913)	11.2	14.7	42.9	31.2
400~600万円未満	(823)	11.8	14.6	42.2	31.5
600~800万円未満	(462)	14.1	15.4	36.6	34.0
800~1000万円未満	(270)	13.3	19.3	37.8	29.6
1000万円以上	(288)	10.4	17.4	35.1	37.2

◆ 今後の社会保障の給付と負担のバランス

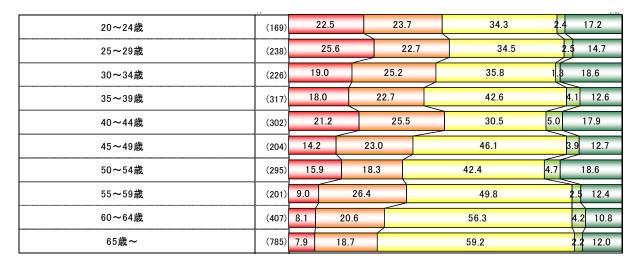
今後の社会保障の給付と負担のバランスについて伺います。次の中から、あな たのお考えに近いものをお選びください。

【全体】

口社会保障の給付水準を大幅に引き下げて、負担を減らすことを優先すべき 口社会保障の給付水準をある程度下げても、従来どおりの負担とすべき 口社会保障の給付水準を保つために、ある程度の負担の増加はやむを得ない 口社会保障の給付水準を引き上げるために、大幅な負担の増加もやむを得ない 口わからない

		n=				(%)_
	全体	(3,144)	14.4	21.8	46.5	3.2 14.1
【性別】						
	男性	(1,512)	14.9	22.4	48.1	4.7 9.9
	女性	(1,632)	13.9	21.3	44.9	1.9 18.0

【年齢階級別】





◆ 社会保障における高齢者と現役世代のあり方

社会保障における高齢者と現役世代の負担のあり方について伺います。次の中から、あなたのお考えに近いものをお選びください。

【全体】

- ロ高齢者に現在以上の負担は求めるべきではなく、現役世代の負担の増加は やむを得ない
- ロ全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加は やむを得ない
- ロ現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加は やむを得ない
- □わからない

	n=			(%)
全体	(3,144) 15.0	51.9	22.3	10.8

【性別】

男性	(1,512)	14.2	52.2	25.1	8.6
女性	(1,632)	15.7	51.7	19.7	12.9

【年齢階級別】

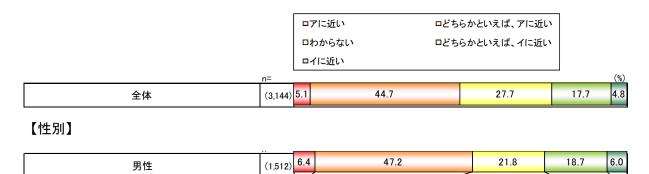
						V*/
20~24歳	(169)	9.5	47.3	31	.4	11.8
25~29歳	(238)	15.5	41.2	3:	32.4	
30~34歳	(226)	11.9	50.0		28.3	9.7
35~39歳	(317)	12.3	51.1		23.7	12.9
40~44歳	(302)	13.6 44.4		27.8		14.2
45~49歳	(204)	10.3	57.4		21.6	10.8
50~54歳	(295)	15.3	49.5		22.0	13.2
55~59歳	(201)	15.4	54.7		22.4	7.5
60~64歳	(407)	17.2	57.7		17.7	7.4
65歳~	(785)	18.3	55.7		15.5	10.4

200万円未満	(388)	17.5	45.1	19.1	18.3	18.3	
200~400万円未満	(913)	16.0	55.2	17.	6 11	1.2	
400~600万円未満	(823)	14.3	4.3 50.3		12	2.0	
600~800万円未満	(462)	13.2	13.2 55.6		.2	6.9	
800~1000万円未満	(270)	15.2	15.2 51.5		7	6.7	
1000万円以上	(288)	12.8	49.7	31.3	1	6.3	

◆ 福祉と負担

次のアとイのそれぞれ対立する意見を示してあります。あなたのお考えはどちらに 近いでしょう。それぞれお1つだけお選びください。

- 【ア】福祉を充実させるため、われわれの負担が重くなってもやむをえない。
- 【イ】福祉が多少低下することになっても、われわれの負担は軽くしてほしい 【全体】



42.3

33.2

(1,632)3.9

【年齢階級別】

女性



200万円未満	(388)	4.6	35.3		36.3		17.8	5.9
200~400万円未満	(913)	3.9	46.0		27.8		17.3	4.9
400~600万円未満	(823)	5.1	46.5		26.5		17.7	4.1
600~800万円未満	(462)	6.1	44.6		27.5		17.7	4.1
800~1000万円未満	(270)	5.9	44.8		23.3		19.6	6.3
1000万円以上	(288)	6.9	47.9		23.6		17.0	4.5

◆ 弱者保護と自由競争

次のアとイのそれぞれ対立する意見を示してあります。あなたのお考えはどちらに 近いでしょう。それぞれお1つだけお選びください。

- 【ア】弱い立場の人々を保護することが、もっと必要だと思う
- 【イ】自由に競争できる社会にすることが、もっと必要だと思う

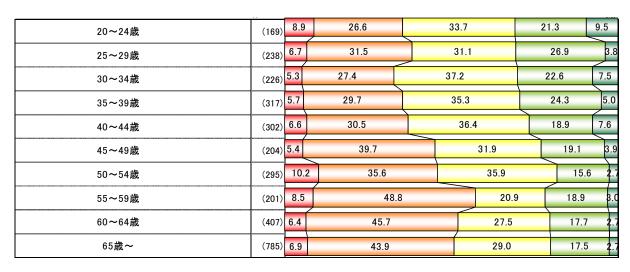
【全体】



【性別】

男性		7.5	39.2	26.4	21.6	5.4
女性	(1,632)	6.5	36.2	36.2	17.8	3.2

【年齢階級別】





◆ 市民意識

あなたの今のいきかたについて、次の中から最も近いものを 1 つだけお選びください。 【全体】

> ロ社会のために必要なことを考え、みんなと力を合わせ、世の中をよくするように 心がけている

> ロ自分の生活とのかかわりの範囲で自分なりに考え、身近なところから世の中を よくするように心がけている

□決められたことには従い、世間に迷惑をかけないように心がけている

ロ自分や家族の生活を充実させることを第一に考え、世間のことにはかかわら ないよう心がけている

ロどれともいえない

	n=	(%)
全体	(3,144) 6.9 41.6	36.0 6.5 8.9

【性別】

男性	(1,512)	8.5	41.9	32.3	8.1	9.2
女性	(1632)	5.4	41.4	39.5	5.0	8.7

【年齢階級別】

20~24歳	(169)	3.6	50.3	24.3	9.5	12.4
25~29歳	(238)	8.4	40.3	28.6	10.1	12.6
30~34歳	(226)	5.8	40.7	31.4	13.7	8.4
35~39歳	(317)	7.3	41.3	31.9	8.5	11.0
40~44歳	(302)	6.3	35.4	38.4	7.0	12.9
45~49歳	(204)	5.9	44.1	33.8	5.4	10.8
50~54歳	(295)	4.1	40.7	37.6	7.5	10.2
55~59歳	(201)	6.0	42.3	39.8		6.0 6.0
60~64歳	(407)	9.6	46.7	33.9		3.2 6.6
65歳~	(785)	7.6	39.9	43.1		3.6 5.9

200万円未満	(388)	5.4	33.2	34.0		7.2	20.1	(,0)
200~400万円未満	(913)	6.8	37.3	41.2			8.0	
400~600万円未満	(823)	7.3	44.3		35.1		5.8	7.4
600~800万円未満	(462)	6.1	45.5		34.2		6.5	7.8
800~1000万円未満	(270)	8.1	45.9		32.6		6.7	6.7
1000万円以上	(288)	8.0	48.6		31	.3	6.9	9 5.2

◆ 社会集団間の対立

どんな国でも異なる社会集団の間では意見が違ったり、対立している場合があります。日本の場合、現役世代と高齢者の間ではどうなっていると思いますか。1つだけお選びください。



【世帯所得階級別】

50~54歳

55~59歳

60~64歳

65歳~

200万円未満	(388)	6.4	22.4	49.7	11.3	10.1
200~400万円未満	(913)	3.4	20.4	59.6	12	.0 4.6
400~600万円未満	(823)	3.6	18.7	57.4	14.6	5.7
600~800万円未満	(462)	3.0	18.4	56.5	16.2	5.8
800~1000万円未満	(270)	3.7	15.2	61.5	15.	9 3.7
1000万円以上	(288)	5.2	16.0	61.8	14	1.2 2.8

13.6

19.4

23.3

(295)3.4 (201)3.5

(407)1.2

(785)2.7

63.1

59.2

56.0

14.6

13.8

11.6

16.4

◆ 一生涯における社会保障の給付と負担のバランス

あなたの一生涯における社会保障の給付と負担についてどのように思いますか。あなたのお考えに近いものをおこたえください。

【全体】

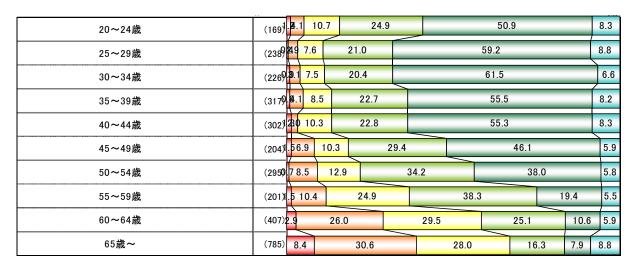
ロ自分が一生涯で負担したよりもかなり多くの給付を受けると思う ロ自分が一生涯で負担した分よりもやや多くの給付を受けると思う ロ自分が一生涯で負担した分とちょうどつり合った給付を受けると思う ロ自分が一生涯で負担した分よりもやや少ない給付しか受けないと思う ロ自分が一生涯で負担した分よりもかなり少ない給付しか受けないと思う ロわからない



【性別】

男性	(1,512)	.7 15.4	19.		23.2	32.7	
女性	(1,632)2.	6 13.1	16.5	24.3		34.6	8.9

【年齢階級別】



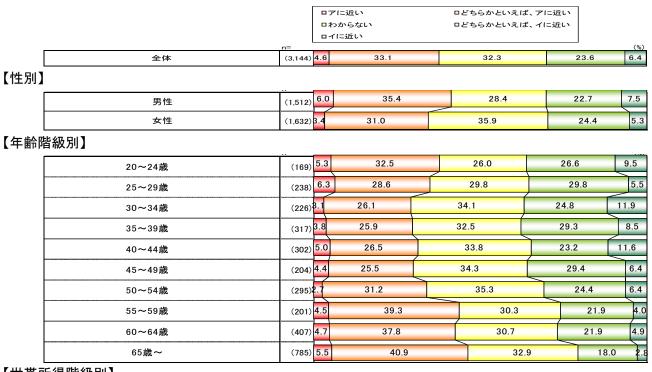


◆ 社会保障と経済成長

次のアとイにはそれぞれ対立する意見を示してあります。あなたのお考えはどちらに近いでしょう。1 つだけお選びください。

- 【ア】様々な理由で失業や貧困状態にある人や、子育てや病気などで働きたくても働けない 状態にある人々に対する社会保障が手厚くなると、その分、保険料や税負担が増える が、これに対して、社会保障給付による消費の活性化、女性や高齢者の就労促進によ る雇用の拡大や給与所得者の増加、労働市場の活性化による高付加価値・高生産性産 業への人材の配置等が可能になり、経済は成長する。
- 【イ】様々な理由で失業や貧困状態にある人や、子育てや病気などで働きたくても働けない 状態にある人々に対する社会保障が手厚くなると、その分、保険料や税負担が増え、 個人消費は冷え込み、企業は社会保障の負担から雇用や設備投資に消極的になるため、 失業率の増加や給与所得の低下、企業の倒産などが引き起こされる可能性が高まり経 済成長は阻害される。

【全体】



200万円未満	(388)	4.1	30.2	41.8	17.8	6.2	
200~400万円未満	(913)	4.7	34.4	33.2		21.7	
400~600万円未満	(823)	23) 4.4 35.0		30.6		24.4	5.6
600~800万円未満	(462)	3.5	31.8	33.3		25.3	6.1
800~1000万円未満	(270)	4.8	33.3	26.3		27.8	7.8
1000万円以上	(288)	7.	6 29.9	25.3		28.1	9.0

若者の仕事観や将来像と職業的自立、就労等支援等に関する調査 (内閣府)

【調査対象】

全国の 15 歳から 29 歳までの男女

【調査方法】

インターネット調査会社のリサーチモニターとして登録している全国の 15歳から 29歳までの男女 3,000名(男性 1,500名、女性 1,500名)を対象に実施したインターネット調査。本調査では、一定期間実査方式を採用し、有効回答が 3,000 サンプルに達するまで調査を実施した。調査対象者は、全国を 7 のブロック(北海道、東北、関東、中部・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄)に分け、各ブロックの 15歳~29歳までの人口比率を、回収サンプル数の 3,000サンプルに割り付けて設定している。

【調查期間】

平成 23 年 12 月~平成 24 年 1 月

【回答数】

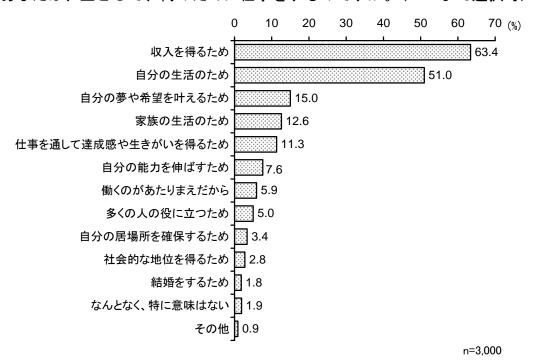
サンプル数 3,000 人

※調査の全体についてはこちらをご参照ください。

http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/thinking/h23/pdf index.html

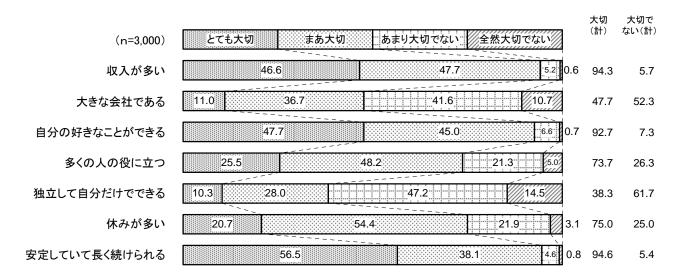
◆ 何のために仕事をするのか

あなたは、主として、何のために仕事をするのですか。(2つまで選択可)



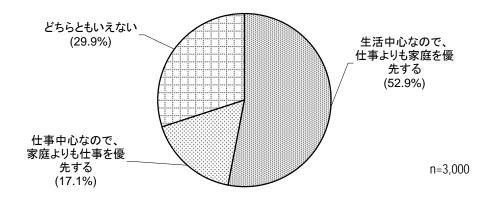
◆ 仕事を選ぶ理由として何がどれくらい大切か

仕事を選ぶ理由として何がどれくらい大切ですか。以下のそれぞれについて、① とても大切、②まあ大切、③あまり大切でない、④全然大切でない、のうちからー つ選んで答えてください。



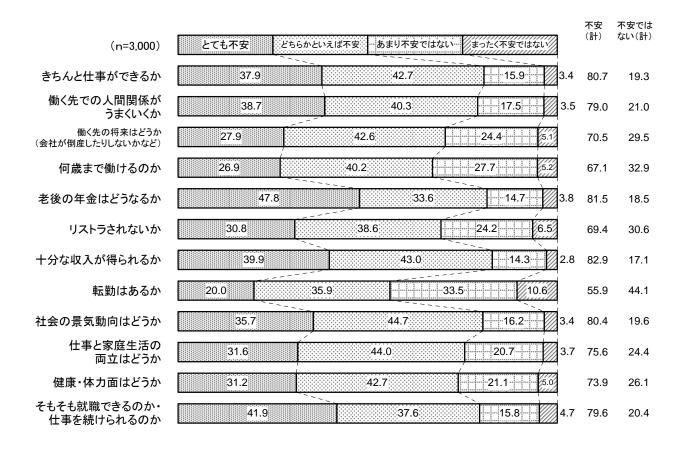
◆ 仕事と家庭のバランス

あなたは、仕事と家庭のどちらを大切にしたいですか。また、その関係について どう考えていますか。(1つ選択)



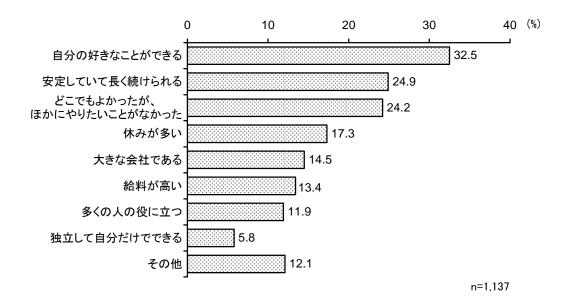
◆ 働くことに関する不安

あなたは、働くことに関して、現在または将来、以下のようなことがどのくらい不安ですか。それぞれについて、①とても不安、②どちらかといえば不安、③あまり不安ではない、④まったく不安ではない、のうちから一つ選んで答えてください。



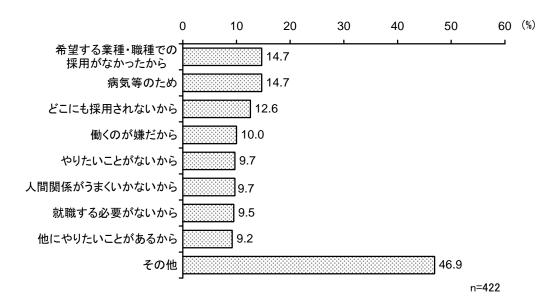
◆ 現在の職業を選んだ理由

あなたが、現在の職業を選んだ理由は何ですか。(複数選択可)



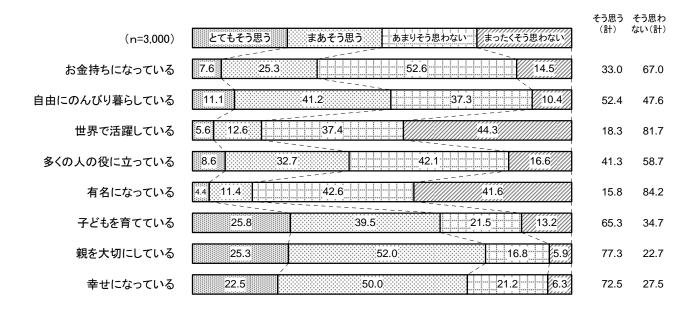
◆ 現在働いていない理由

あなたが、現在働いていない理由は何ですか。(複数選択可)



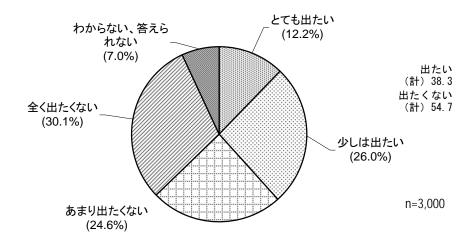
◆ 将来の自分の姿

あなたが 40 歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。以下のそれぞれについて、①とてもそう思う、②まあそう思う、③あまりそう思わない、④まったくそう思わない、のうちから一つ選んで答えてください。



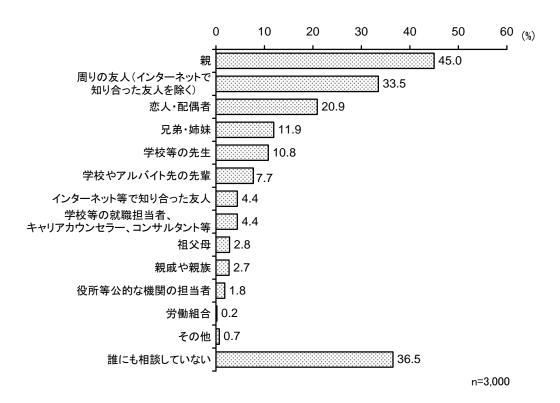
◆ 海外での就労意向

あなたは、将来、海外に出て働きたいと考えますか。(1つ選択)



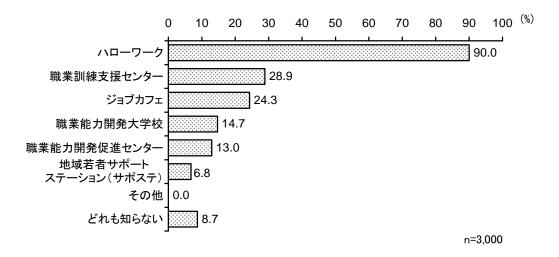
◆ 働くことの悩み等の相談相手

あなたは、「働くこと」(就職をすることや就職してから働き続けること等を含みます。以下同じ。)の悩み等について、誰かに相談したことがありますか。(複数選択可)



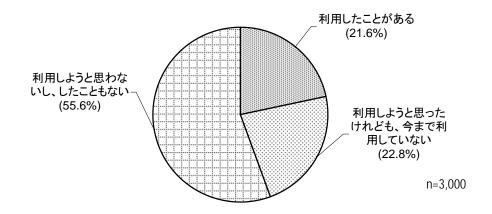
◆ 働くことを支援する公的な相談機関等の認知状況

あなたは、働くことを支援する、役所等の公的な相談機関等があることを知っていますか。知っている公的な相談機関等を選んでください。(複数選択可)



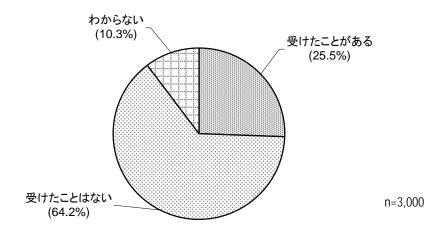
◆ 公的相談機関の利用状況

あなたは、働くことに関して、役所等の公的な相談機関を利用したこと、利用 しようと思ったことがありますか。(1つ選択)



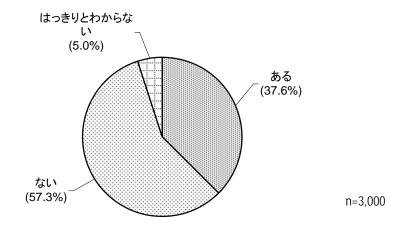
◆ キャリア教育・職業教育を受けた経験

あなたは、キャリア教育・職業教育を受けたことがありますか。(1つ選択)



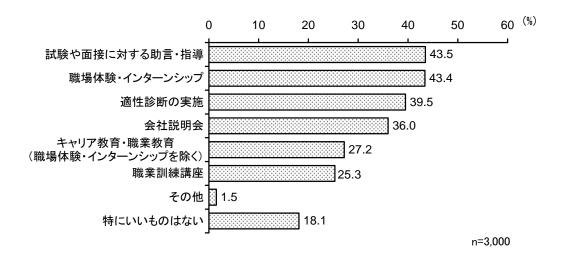
◆ 職場体験・インターンシップの経験

職場体験、インターンシップを経験したことがありますか。(1つ選択)



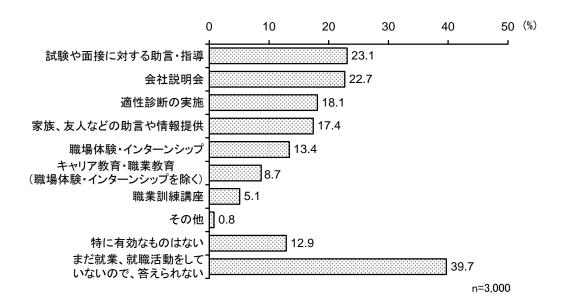
◆ 必要だと思う支援

あなたは、職業を選ぶ際に、どのような支援があると良いと思いますか。まだ 就業していない人も選んで下さい。(複数選択可)



◆ 有効な支援

あなたが、職業を選ぶ際や就職活動をする際に、どのような支援が有効でしたか。 (複数選択可)在学中・無職等で、まだ就業していない人、就職活動をしていない 人は、「まだ就業、就職活動をしていないので、答えられない」を選んで下さい。



社会保障を支える世代に関する意識等調査 (厚生労働省)

【調査対象】

平成 22 年国民生活基礎調査 (所得票) の対象単位区から無作為に抽出した 360 単位区内のすべての世帯の 20 歳以上 65 歳未満の世帯員について行った。

【調査方法】

あらかじめ調査員が配布した調査票に、調査対象となった世帯員が自ら記入 し、後日調査員が回収する方式(留置自計方式)により実施した。

【調査期間】

平成 22 年 7 月 15 日

【回答数】

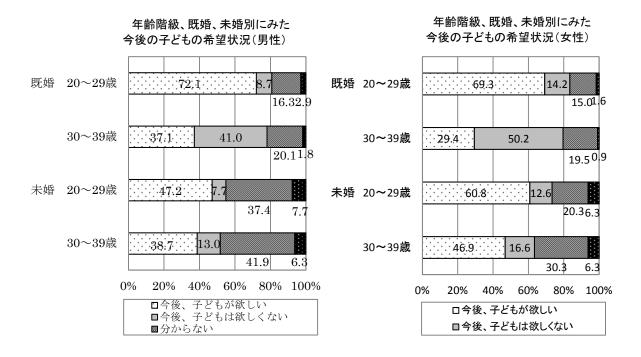
集計客体数 7,413 人

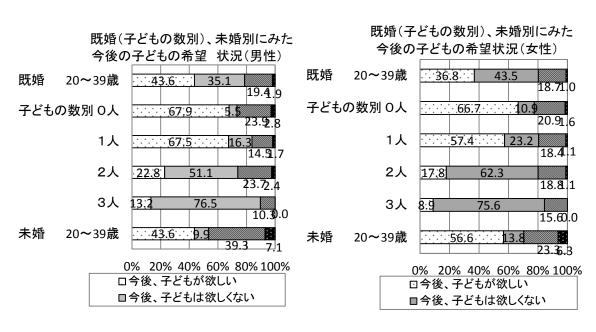
※調査の全体についてはこちらをご参照ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002gruv.html

◆ 今後の子供の希望状況

今後、あなたはお子さんが欲しいと思いますか。

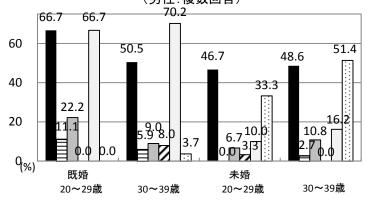


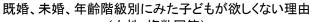


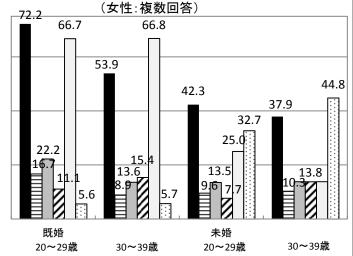
◆ 子どもが欲しくない理由

お子さんを欲しくないとした理由についてお答えください。

既婚、未婚、年齢階級別にみた子どもが欲しくない理由 (男性:複数回答)





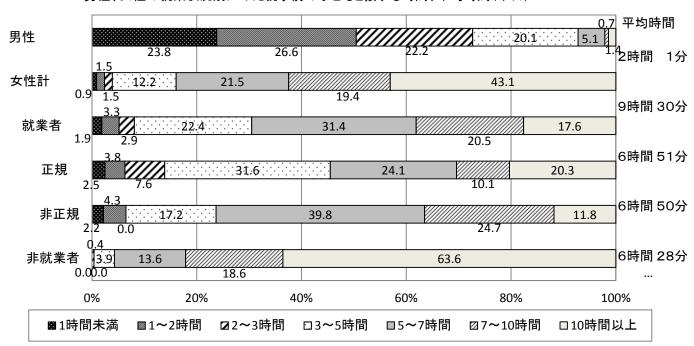


■経済的な理由

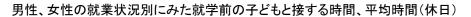
- ロ相談相手の不在、住 まいの環境等に対す る育児への不安
- □保育所不足、職場環 境等に対する育児へ の不安
- ☑ 高齢出産や産科医不 足などによる出産リス クへの不安
- □現在の家族構成で十 分であるため
- 口その他

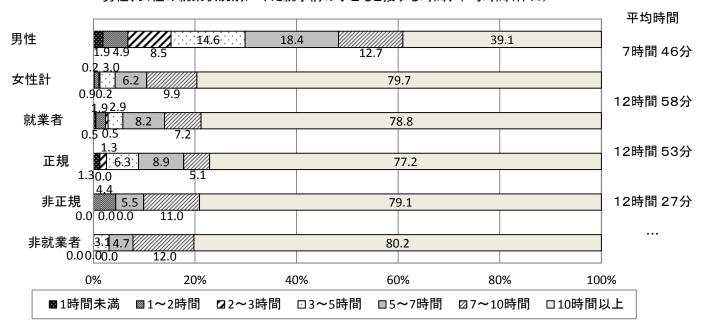
◆ 就学前の子どもと接する時間

あなたは、平均すると1日の中で、お子さんの食事や入浴などの世話をしたり、 お子さんと遊んだりすることに何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分け てお答えください。



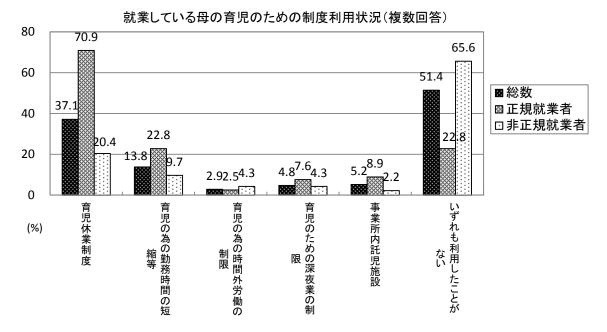
男性、女性の就業状況別にみた就学前の子どもと接する時間、平均時間(平日)





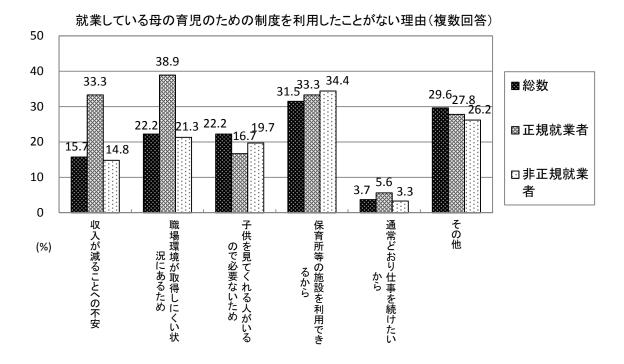
◆ 就業している母の育児のための制度利用状況

あなたは、次の制度等を利用したことがありますか。



◆ 就業している母の育児のための制度を利用したことがない 理由

育児休業等の制度を利用したことがない理由についてお答えください。



◆ 重点を置くべき出産・子育ての環境整備

出産・子育ての環境整備を推進するために、あなたは政府が特にどのような方策 に重点を置くべきだと思いますか。

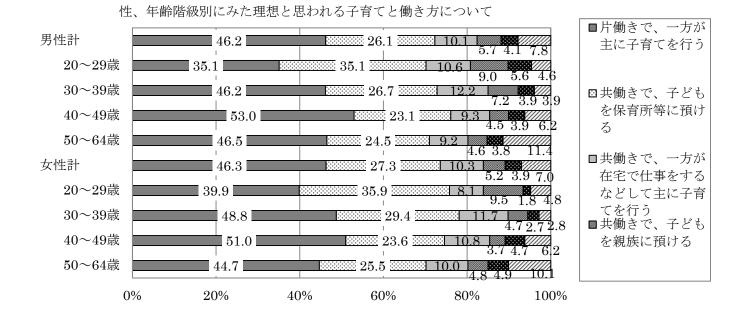
性別にみた重点を置くべき出産・子育ての環境整備について(複数回答)

(単位:%)

	教育費の 負担の軽 減	保育所等 の充実	子ども手 当等の経 済的支援 の充実	出育段後職帰死雇の後、場で雇用番の	産科、小 児科など の医療提 供体制の 再建	育児休業 制度の充 実	労働の短いのとのでは、スターののでは、スターのでは、カーののでは、カーののでは、カーのではでは、カーのでは、カーのでは、カーのではでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーのでは、カーので	地域子育 て支援セ ンター等 の充実	子どもの 遊び場の 確保	不妊治 療の費 用負担 の軽減	子育ての しやすい 広い住宅 の確保	その他
総数	55.3	43.3	30.9	28.2	25.9	21.0	18.6	13.1	12.0	10.4	8.0	3.8
男性	58.2	40.8	33.2	23.9	24.0	18.3	18.2	12.6	12.1	7.8	8.6	4.5
女性	52.5	45.6	28.6	32.3	27.7	23.6	18.9	13.6	11.8	12.8	7.4	3.1

◆ 理想と思われる子育てと働き方

お子さんが幼児期(満1歳~就学前)の子育てと働き方について、理想と思われるものは次のどれですか。

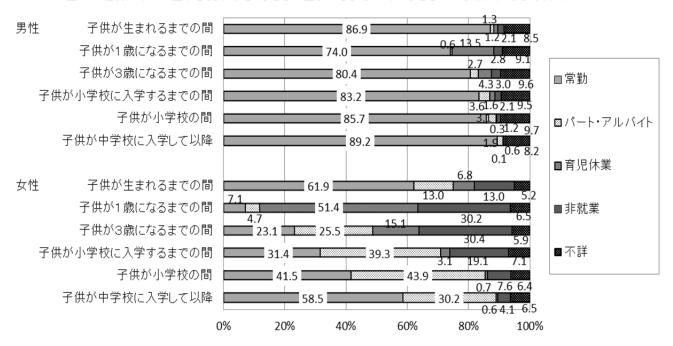


◆ 子どもの年齢による希望する就業形態

お子さんの年齢とあなたの働き方について、以下に掲げる a) ~f) の間において、 あなたが希望する就業の形態をお答えください。

- a) 子どもが生まれるまでの間 b)子どもが小学校に入学するまでの間
- c) 子どもが3歳になるまでの間 d)子どもが小学校に入学するまでの間
- e) 子どもが小学校の間 f)子どもが中学校に入学して以降

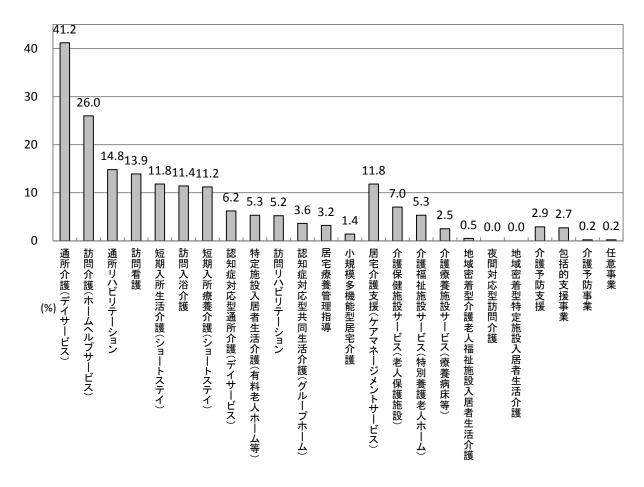
性別にみた希望する就業形態(子どもが生まれるまでの間~子どもが中学校に入学して以降)



◆ 手助けや見守りをしている親がいると回答した者の親の介護サービスの利用状況

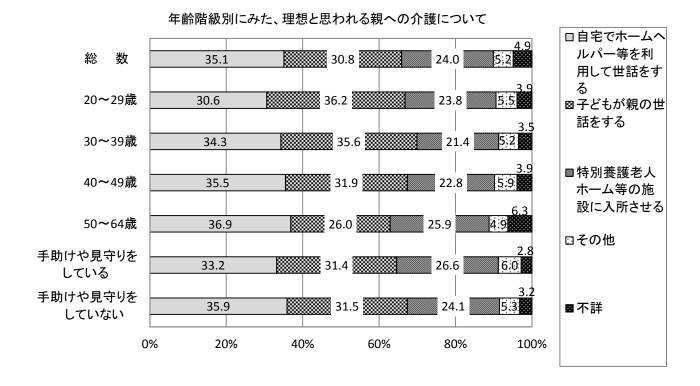
これまで利用したことあるサービスについて、対象者別にお答えください。

手助けや見守りをしている親がいると回答した者の親の介護サービスの利用状況(複数回答)



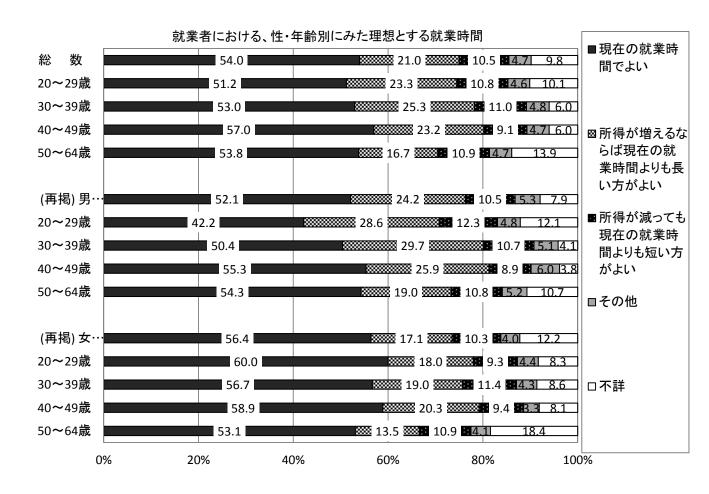
◆ 理想と思われる親への介護

親への介護について、理想と思われるものは次のどれですか。



◆ 理想とする就業時間

あなたの理想とする就業時間は、あなたの今の就業時間に比べてどうですか。



◆ 理想とする働き方や労働条件

あなたの理想とする働き方や労働条件として、あてはまるものはどれですか。

性別にみた理想とする働き方や労働条件(複数回答)

	定年まで雇用が確保されている	老後の所 得保限 して退職 金 やかが 実してい る	有給休暇 が取得し やすい環 境である	残業がない。 たいかい たいかい たいかい たい だい おいい はい である	育児 が や が 、と で し 環 る	自分の能 カやキャ リアなど に応じて 転職が出 来る	成果主義 的な賃金 体系	福利厚生 サービス が充実し ている	介護 が取す がです。 がの両すい さいの である もである	年功主義 的な賃金 体系の下 で働きた	その他
総数	41.6	34.9	31.8	29.7	18.4	17.4	15.5	15.4	11.4	7.3	3.3
男性	47.0	36.5	29.3	25.6	8.0	20.7	21.8	15.1	7.9	10.0	3.5
女性	36.6	33.4	34.1	33.6	28.1	14.3	9.5	15.8	14.8	4.7	3.2

◆ 将来への不安

あなたは、現在、将来への不安はどのようなものがありますか。

年齢階級、性別にみた将来への不安について(複数回答)

	公的年金 が老後生 活に十分 であるかど う か	あは の 療 が なり、担て で か り、 か り、 か り、 か し し で か か か り、 か し し か か か か か か か か か か か か か か か か	給料や諸 手当の減 額が行わ れるので はないか	企業年金 や退職金 が減額、 廃止される のではな いか	子育てや 子どもの 教育にお 金がかり、生活が 苦しくなる のではな いか	高齢者向 けの就業 の場が十 分に確保 されないの ではない か	リストラ等 による解 雇が行わ れるので はないか	特に不安はない	その他
総数	73.5	45.0	25.3	23.8	21.5	17.0	12.6	2.8	2.7
20~29 歳	57.5	34.1	38.5	23.2	33.0	7.1	20.8	5.1	3.7
30~39 歳	66.7	43.0	32.7	22.2	41.6	9.4	14.2	3.1	2.4
40~49 歳	74.9	47.3	27.1	25.5	25.5	12.9	14.2	1.9	2.6
50~64 歳	81.6	48.5	16.2	23.8	5.7	26.2	8.2	2.3	2.5
男性	71.8	41.3	27.2	26.0	18.2	17.7	14.7	3.3	2.7
女性	75.2	48.5	23.5	21.6	24.7	16.3	10.7	2.3	2.6

◆ 老後の生計を支える手段として考えているもの

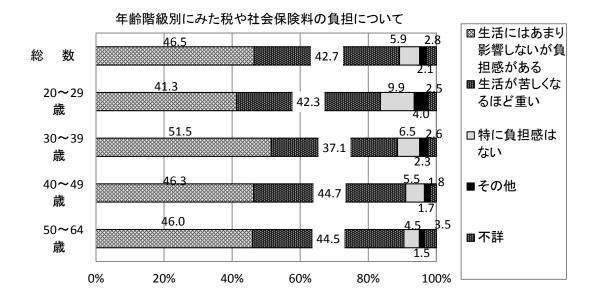
あなたは、あなた自身の老後の生計を支える手段として、どのようなものを考えていますか。

年齢階級、性別にみた老後の生計を支える手段として考えているものについて(複数回答)

	国民年金 や厚生年 金など、 公的年金	自分の就 労による 収入	貯蓄また は退職金 の取り崩 し	配偶者の就労による収入	個人年金	勤務先の企業年金	親など親 族からの 相続	子どもなど親族からの援助や仕送り	家賃や銀 行の利子 などの資 産収入	その他
総数	72.7	53.0	40.2	20.6	13.5	10.9	3.5	2.8	2.1	2.4
20~29 歳	60.0	64.3	39.1	22.7	10.4	12.5	2.9	2.7	1.8	3.9
30~39 歳	64.5	61.7	38.2	24.2	12.3	11.6	4.5	2.1	1.6	2.5
40~49 歳	71.3	54.9	40.2	22.9	16.5	11.8	4.1	2.3	1.7	2.3
50~64 歳	81.8	43.9	41.7	16.9	13.6	9.6	2.9	3.4	2.6	1.9
男性	72.7	62.8	40.1	8.3	12.4	13.9	3.9	2.3	2.4	2.3
女性	72.7	43.8	40.3	32.2	14.7	8.1	3.1	3.3	1.8	2.5

◆ 税や社会保険料の負担感

あなたは、現在の税や社会保険料の負担についてどう思いますか。



◆ 関心のある社会保障の分野

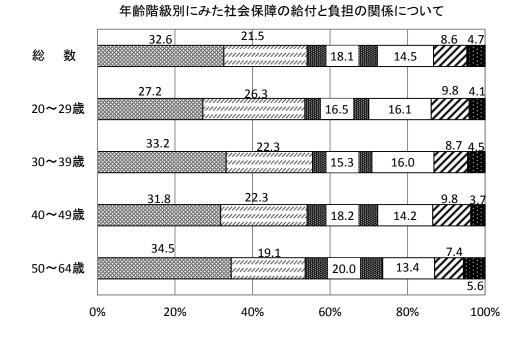
現在、急速に少子高齢化が進行している我が国において、あなたが関心のある 社会保障の分野はどれですか。

年齢階級、性別にみた関心のある社会保障の分野について(複数回答)

	老後の所 得保障	老人医療 や介護	医療保 険・医療 供給体制	雇用の確 保や失業 対策	少子化対 策(子育 て支援)	健康の保 持、増進	生活保護 などの低 所得者対 策	その他
総数	71.2	43.2	37.5	30.5	26.1	21.4	10.9	1.3
20~29 歳	57.4	27.7	34.9	40.0	43.9	17.3	14.5	2.0
30~39 歳	64.5	33.9	35.4	34.8	40.9	16.6	9.7	1.8
40~49 歳	75.2	45.4	38.7	32.2	21.1	18.5	11.2	1.2
50~64 歳	77.0	51.7	38.7	24.3	15.5	26.7	10.2	0.9
男性	70.1	39.0	36.4	32.2	25.8	21.3	11.5	1.5
女性	72.3	47.1	38.5	28.8	26.4	21.5	10.4	1.1

◆ 今後の社会保障の給付と負担の関係

今後、少子高齢化が進み、高齢者を支える現役世代が減少していくことが見込まれております。あなたは、今後の社会保障の給付と負担の関係は、どのようにあるべきだと思いますか。



- 図社会保障の給付水準を 維持し、少子高齢化によ る負担増はやむを得ない
- 四社会保障の給付水準を ある程度引き下げ、従来 どおりの負担とする
- ■社会保障の給付水準を 引き上げ、そのための負 担増もやむを得ない
- □社会保障の給付水準を 大幅に引き下げ、負担を 減らすべき
- ■その他
- ■不詳

男女のライフスタイルに関する意識調査 (内閣府)

【調査対象】

20歳以上の男女

【調査方法】

20 歳代から 60 歳代の全国の男女を対象としたインターネットによるモニター調査。モニターについては、国勢調査に準拠し、ブロック別人口、年代別人口に合わせた割付を行っている。

【調査期間】

平成 21 年 2 月 2 日~平成 21 年 2 月 12 日

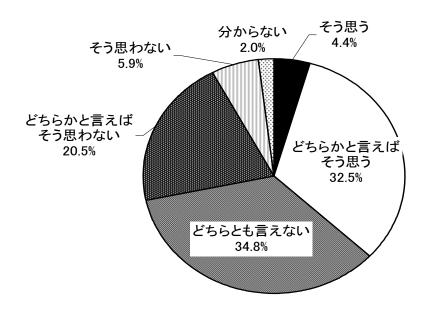
【回答数】

サンプル数 10,000 人

※調査の全体についてはこちらをご参照ください。

http://www.gender.go.jp/research/lifestyle/index.html

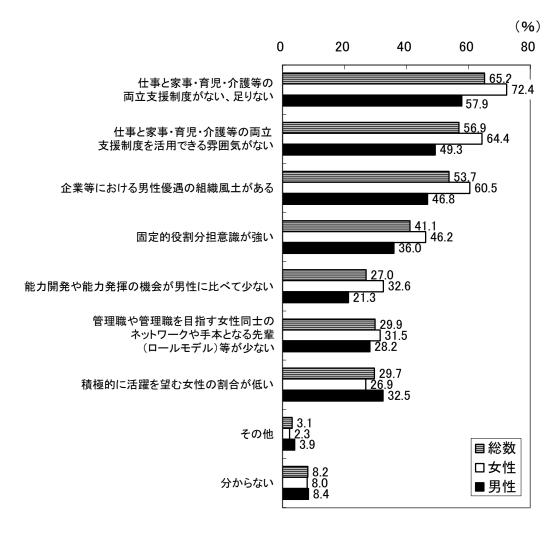
◆ 社会において女性の能力は十分活用されていると思うか 社会において、女性の能力は十分活用されていると思いますか。



◆ 日本における女性の参画が、海外の先進国と比べて遅れて いる理由

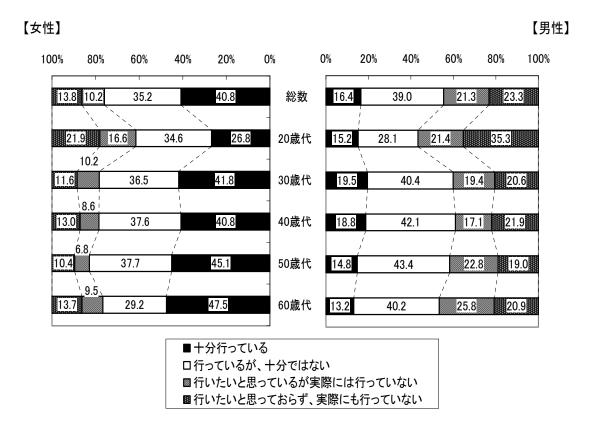
日本での女性の社会における活躍は、海外の他の先進国に比べて遅れている(政治及び経済活動への参画を示す国連指標では、日本は 108 か国中 58 位)と言われていますが、その原因はなんだと思いますか。

※複数回答

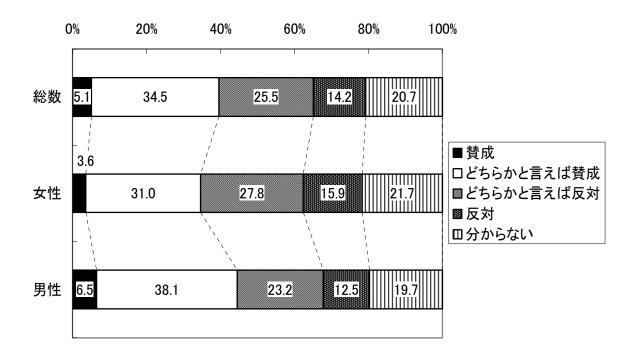


◆ 家庭における、家事や育児・介護などへの参画

家庭において、家事や育児・介護などを行っていますか。



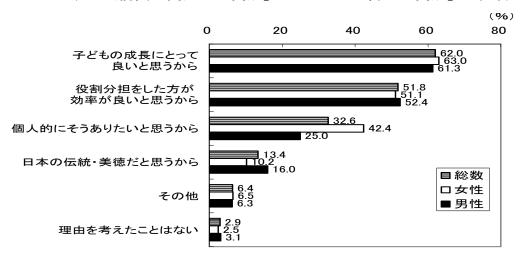
◆ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるといった考え方 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、どう思 いますか。



◆ 固定的性別役割分担意識に賛成、反対の理由

何故そう思いますか。

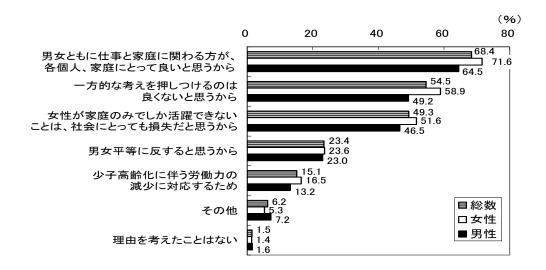
- ※複数回答
- ※「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、どう思いますか(前頁の問)で「賛成」「どちらかと言えば賛成」と回答した者のみ



何故そう思いますか。

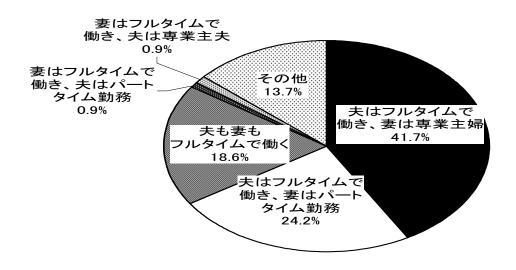
※複数回答

※「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方について、どう思いますか」(前頁の問)という問に「反対」「どちらかと言えば反対」と回答した者のみ



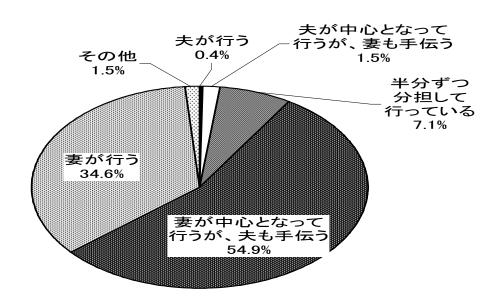
◆ 夫婦間での役割分担

勤務形態について、実際のあなたの家庭ではどうなっていますか。 ※「婚姻中」の者のみ。



◆ 夫婦間での家事分担

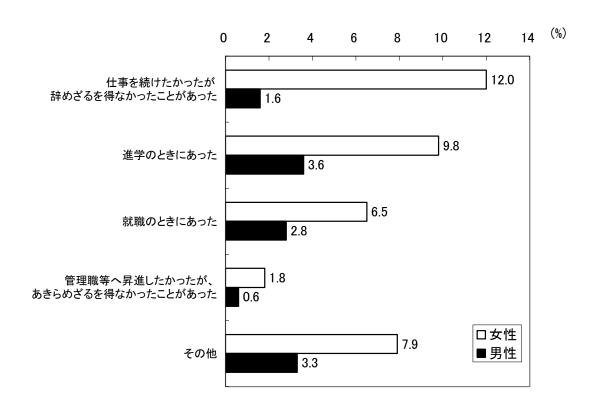
家事分担について、実際のあなたの家庭ではどうなっていますか。 ※「婚姻中」の者のみ



◆ 固定的分担意識によって、自分の希望とは違う選択をした ことはあるか

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」、「男子生徒は理系、女子生徒は文系を 選ぶべき」といった、男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選 択をせざるを得なかったことがありましたか。

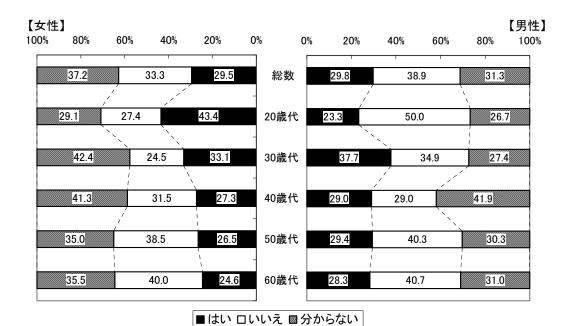
※複数回答



◆ 現在同じような状況でも、自分の希望とは違う選択をせざるを得ないと思うか

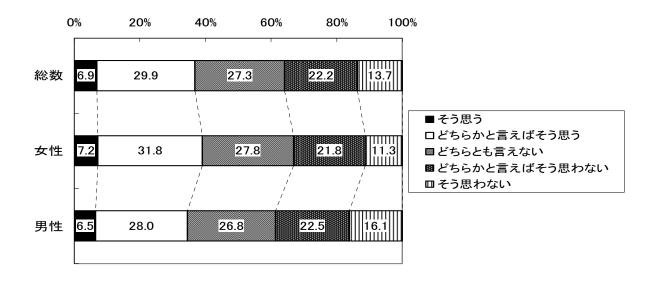
現在同じような状況になった場合、性別を理由に自分の希望とは違う選択をせ ざるを得ないと思いますか。

※『「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」、「男子生徒は理系、女子生徒は文系を選ぶべき」といった、男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことがありましたか。』という問(前頁の問)に「なかった」と回答した者以外



◆ 自分の希望する時間の使い方ができていると思うか

あなたは、仕事や家庭、地域・社会活動、趣味・娯楽など、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。

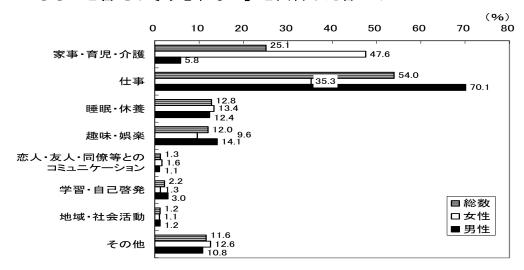


◆ 時間を取り過ぎていると思う活動

あなたが時間を取り過ぎていると思うのはどの活動ですか。

※複数回答

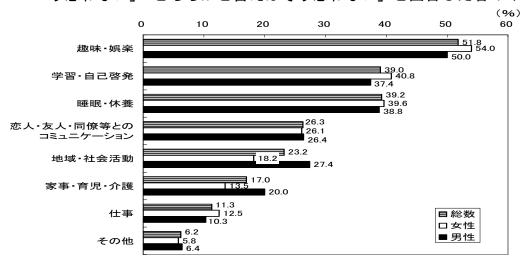
※『あなたは、仕事や家庭、地域・社会活動、趣味・娯楽など、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。』(前項の問)に「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と回答した者のみ



◆ 時間が取れていない活動

あなたが時間が取れていないと思う活動は何ですか。

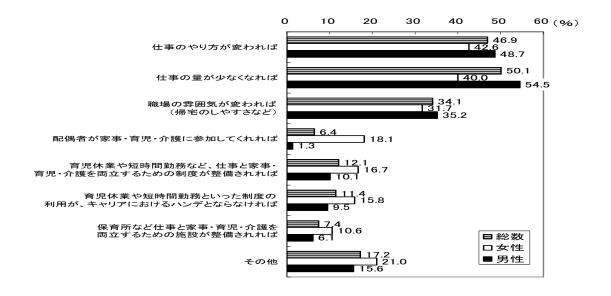
- ※複数回答
- ※『あなたは、仕事や家庭、地域・社会活動、趣味・娯楽など、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。』という問(前頁の問)に「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」と回答した者のみ



◆ 自分が希望する時間の取り方のために必要なこと

どのようにすれば、自分が希望する時間の取り方ができると思いますか。

- ※複数回答
- ※『あなたが時間を取り過ぎていると思うのはどの活動ですか。』という 問(前頁の問)に「仕事」と回答した者のみ

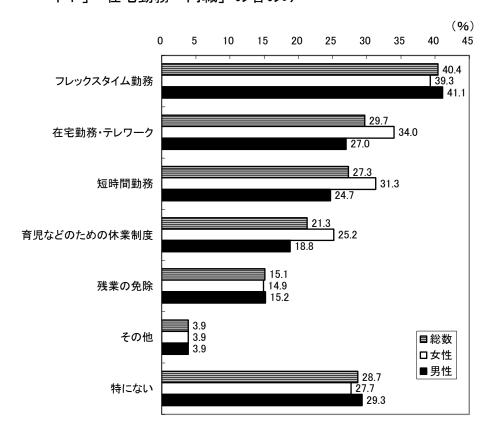


◆ ワーク・ライフ・バランスを実現するために利用してみたい制度

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現するために、職場において利用してみたい制度はありますか。

※複数回答

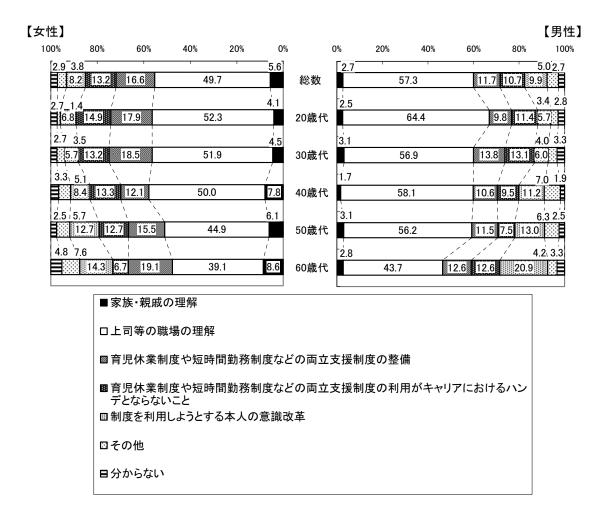
※「正社員・正規の職員」「契約社員・委託職員・派遣職員」「パート・アルバイト」「在宅勤務・内職」の者のみ



◆ 制度を実際に利用するに当たって、最も重要なこと

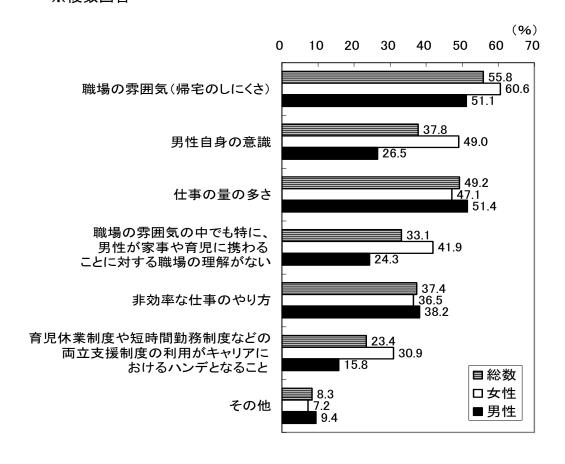
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現するための制度を実際 に利用するに当たって、最も重要なことはなんですか。

※『仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現するために、職場 において利用してみたい制度はありますか。』という問(前頁の問)で「特 にない」を選択したもの以外



◆ 男性の働き方について、長時間労働や休みの取りにくさの 原因

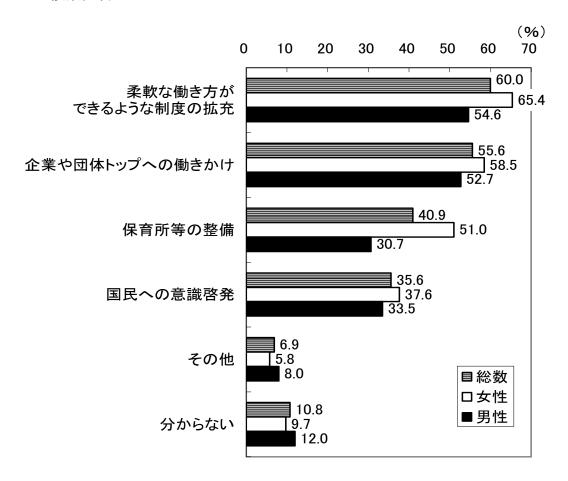
男性の働き方について、長時間労働が顕著になっていたり、休みが取りにくいといった実情があると思いますが、これらの原因は何にあると思いますか。 ※複数回答



◆ 仕事と生活の調和を実現しやすい社会にするために、行政 に期待すること

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を実現しやすい社会にするために、行政に期待することは何ですか。

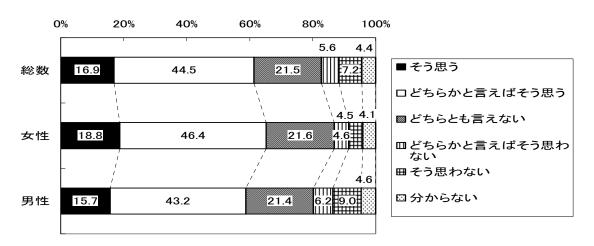
※複数回答



◆ 女性は男性に比べて能力向上の機会が少ないと思うか

女性は、男性に比べて、責任のある仕事を与えられたり、仕事上の能力を向上 させるための研修を受けたりする機会が少ないと感じますか。

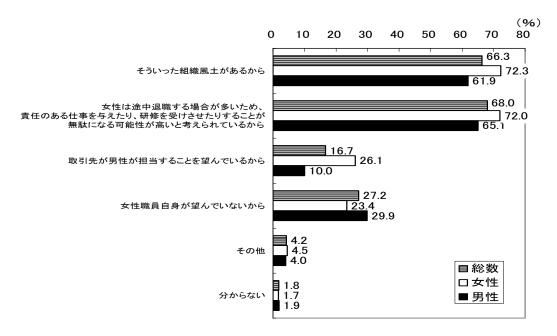
※「正社員・正規の職員」「契約社員・委託職員・派遣職員」「パート・アルバイト」「在宅勤務・内職」の者のみ



◆ 女性に能力向上の機会が少ない理由

それはなぜだと思いますか。

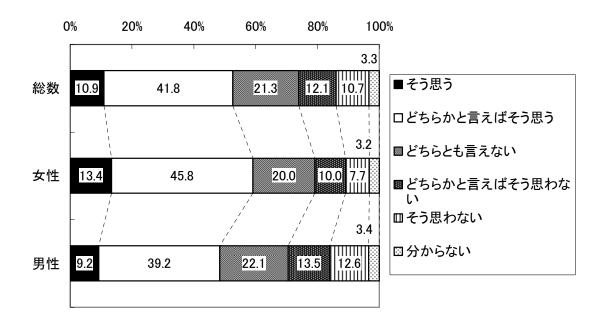
- ※複数回答
- ※『女性は、男性に比べて、責任のある仕事を与えられたり、仕事上の能力を向上させるための研修を受けたりする機会が少ないと感じますか。』という問(前項の問)に「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した者のみ



◆ 普通の女性が管理職になるのは難しいと思うか

管理職として働いている女性は、女性の中でも特別な存在であり、普通の女性が 管理職になることは、難しいと思いますか。

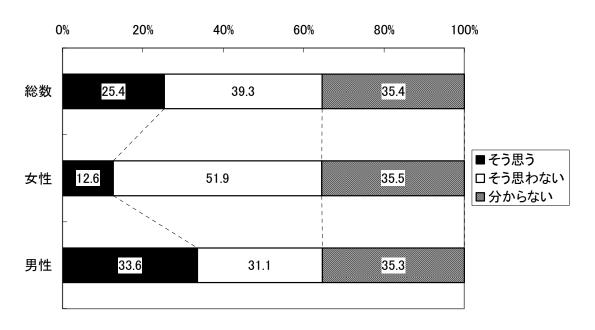
※「正社員・正規の職員」「契約社員・委託職員・派遣職員」「パート・アルバイト」「在宅勤務・内職」の者のみ



◆ 10年後、今より高い職責にあると思うか

自分が 10 年後、現在よりも高い職責にあったり、難しい仕事を行っていると思いますか。

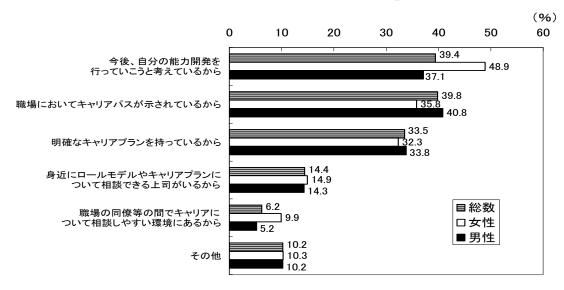
※「正社員・正規の職員」「契約社員・委託職員・派遣職員」「パート・アルバイト」「在宅勤務・内職」の者のみ



◆ 10年後のキャリアアップが見通せる理由

それはなぜですか。

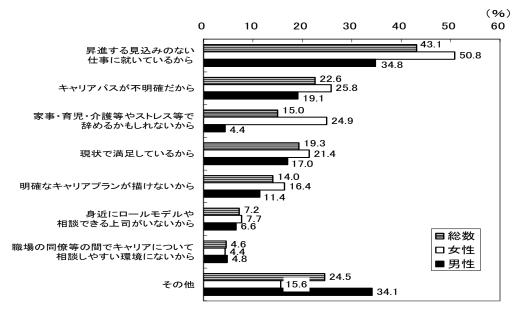
- ※複数回答
- ※『自分が 10 年後、現在よりも高い職責にあったり、難しい仕事を行っている と思いますか。』という問(前頁の問)で「はい」と回答した者のみ



◆ 10年後のキャリアアップが見通せない理由

それはなぜですか。

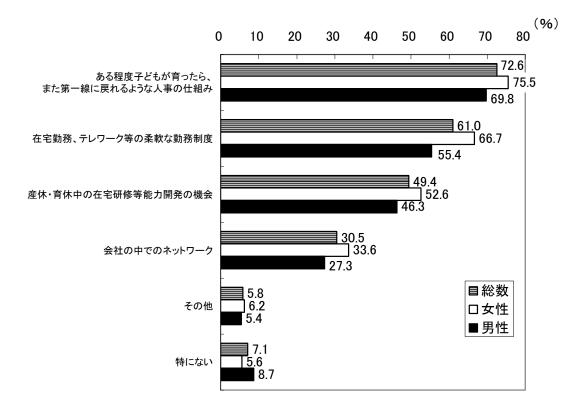
- ※複数回答
- ※『自分が 10 年後、現在よりも高い職責にあったり、難しい仕事を行っていると 思いますか。』という問(前頁の問)で「いいえ」と回答した者のみ



◆ 女性が子育てをしながら活躍するために有用な仕組み

次のうち、女性が子育てをしながら活躍するために、実際にあると有用だと思うものはどれですか。

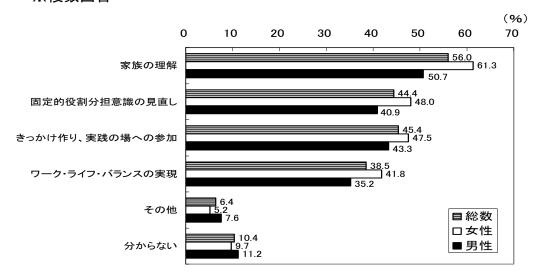
※複数回答



◆ 地域社会において女性が活躍するために必要なこと

自治会や地域団体など、地域社会において、女性が活躍していくために必要な ことは何だと思いますか。

※複数回答



◆ 女性が能力開発・発揮しやすい社会にするために、行政に 期待すること

女性の能力開発・能力発揮しやすい社会にするために、行政に期待することは 何ですか。

※複数回答

